

かみふらの



2017 **6** NO.697
こうほう



上富良野町・三重県津市
友好都市提携20周年記念
特集 **かみふらとつう**
ずっとなかよし



主な内容

参観日は学校に行こう!!

地域の皆さんに公開しています

かみふらの120年記念

「まるごとかみふらの」ビアガーデン



広報かみふらのに
津うキャラ大集合!

特集 かみふとっしゅ

ずっしゅとなかよし



「私たちのまち上富良野町を普段ど
う呼んでいますか?」と聞かれたら、
やっぱり「かみふ」(かみふた)。

では、世界一発音が短い地名として
ギネスブックにも登録されている三重
県津(つ)市。市民の皆さんは「津」を
どう呼んでごらっしゃるでしょうか?

正解は…

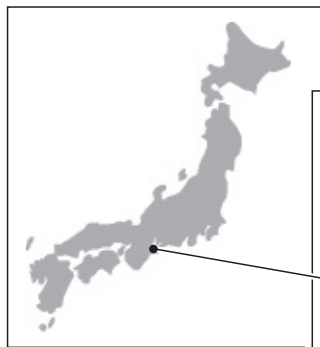
しゅ

なんですって!!

世界一短いのもつたいない(っ)よ
うな気もしますが、そんな「しゅ」と
「かみふ」が友好都市提携を結んでか
ら今年で20年。これを記念して、両市
町では友好の絆を深めるさまざまな取
り組みが行われます。

今月は上富良野町と津市の連携企画
として津市のご紹介のほか、上富良野
に大きな足跡を残し、友好提携の発端
となった津市出身の2人、20年間の交
流の軌跡、そして今年度予定されてい
る記念事業についてお伝えします。





三重県内地図



津市内地図

津市の概要

人口 280,710人
世帯数 124,002世帯
面積 711.11km²
(平成29年4月1日現在)



自然豊かな大地を緑色、
伊勢湾の波濤(はとう)
を青色で表現、「つ」を
モチーフにした市章

津市の歴史を学んでみよう！

三重県の中央部に位置する津市は面積約711km²、人口28万710人(平成29年4月1日現在)を有する県庁所在地。

平成18年に周辺の久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の9市町村と合併して現在の津市となり、人口は四

日市市に次いで県内2番目、伊勢湾から奈良県境までの広大な市域は東京23区、シンガポール、琵琶湖とほぼ同じ面積で県内随一の広さです。

津市の「津」はもともと「港」「船着き場」を意味する言葉で、古くは安濃津(あのと)と呼ばれ、中国との貿易

港として重要な機能を果たしていたことから、400年ほど前の中国明代の歴史書には坊津(ほうつ)のつ 鹿兒島県南さつま市)、花旭塔津(はかたつ 福岡県福岡市)と並び「日本三津(にほんさんしん)」の一つとされています。

室町時代から戦国時代にかけては美杉地域を本拠とする伊勢国司北畠氏が中世都市を形成し大変栄え、江戸時代には豊臣秀吉、徳川家康らに仕えた武将藤堂高虎が関ヶ原の戦い、大阪の陣での戦功により徳川幕府を支える重鎮として家康から伊勢国の一部、伊賀国一円の領主を命じられ初代津藩主に。

津城を中心とした城下町として発展し、伊勢神宮の街道を城下に引き入れ整備したことで参拝客の宿場町としてもにぎわい、伊勢音頭には「伊勢は津で持つ 津は伊勢で持つ 尾張名古屋は城で持つ」とうたわれています。

明治22年、全国の30市とともに日本で初めて市政施行した津市には、産業の近代化とともに多くの紡績工場が進出。中でも、三重紡績と大阪紡績の合併により日本最大の紡績会社、東洋紡績が誕生したことで三重紡績津工場も東洋紡績津工場となり、全国有数の大工場となりました。

産業と鉄道や道路など交通網の発達により発展を遂げていた津市でしたが、太平洋戦争が始まると市内の工場は軍需工場に。終戦を迎える昭和20年にはアメリカ軍の度重なる空襲により



高虎時代絵巻 (津まつり)



三重県無形民俗文化財の唐人踊り(津まつり)



空襲により焦土と化した津市(津市教育委員会所蔵資料)



津市の街並み(アスト津屋上から)



伊勢街道としてにぎわってきた国道23号線(津市丸の内)

市街地の73%が焼失、壊滅的な被害を受けました。全戸数の58%に当たる1万294戸、全人口の54%に当たる4万431人が被災、死者数1千885人、重傷者は620人に上ったとされ、翌年から始まった街路や公園緑地、墓地、上下水道などの基盤整備、焦土からの復興事業はその荒廃の大きさを昭和57年まで37年間続いた大事業でした。

山と海に囲まれた豊かな自然、多様な文化、そして長い歴史に彩られた古都、津市。次はそのバラエティに富んだ魅力を、個性豊かな楽しいゆるキャラたちに紹介してもらいます！



「津うキャラ」が 津市を紹介しちやうぞ!!

津市には「津うキャラ」と呼ばれるゆるキャラがいっぱい！ その数はなんと12キャラで、まちの魅力を「体と名前」で表現（ー）した個性派ぞろい!! 楽しいキャラクターが歴史や自然など、津の「いいところ」を紹介しちやいます♪



シロモチくん

- 住所** 津城周辺ぷくよ
- 趣味** 津市内をうろろして、楽しいものを見つけたらぷくよ
- 特技** 見かけによらず足が速いぷくよ！うれしいと高くジャンプできるぷくよ
- 性格** モチ前の明るさと粘り強さぷくよ(笑)
- 好きなもの** 津のおいしいもの、津の人たちぷくよ!
- その他** 平成23年1月6日に津市の特別住民票をもらっちゃったぷくよ

「白ご三つ丸餅の旗」の精霊!

津のお殿様、藤堂高虎公がまだ若く育っていたころ、餅屋の商品をつまみ食い

してしまいました。餅屋の主人は優しい言葉をかけました。それに感謝した高虎公が「人の情けを忘れないように」と、藤堂家の旗印を「白ご三つ丸餅」としました。

シロモチくんはその旗印から生まれた精霊で、伊勢神宮への参宮街道を城下の市街地まで引き入れるなど、津の繁栄に努めた高虎公が伊勢の国(現在の三重県)に入府して400年目に当たる平成20年、高虎公が思い描いた津市の実現に向けもつとお手伝いをしたいと津城下町に出現。その名前は高虎公が「『城持ち』になれるように」と兵を励ました逸話にも由来しています。ちなみに体の1段目が粒あん、2段目はこしあん、3段目は津名物の「いちご大福」になっているこのウフサも…。

頭にあるのは高虎公愛用の黒漆塗唐冠形兜(くさうり)しめりとうがんなりかぶと(こ)をモチーフにした兜。本人は「うさ耳兜」と呼んでい



ます。津では珍しく大雪が降ったある日、うれしくて急いで外に飛び出したシロモチくん。兜と間違えてバケツをかぶって外に出てしまい、雪だるまと間違われたこともあったとか。

ゾーくんには、いつも「腹が減っては戦(いくさ)がでぎぬ」と言っていますが、「そんなに食べたら動けなくナルゾー!!」と注意されています。「津うキャラ」のリーダー的な存在で、津市の「もちまえの明るさでがんばる部長」です。



お城公園の津城本丸跡内にある藤堂高虎公像(左)と再建されたやぐら(右)ぷくよ

こんなキャラクターもいるよ!



藤堂とらまる
©(特活)三重ドリームクラブ

津のお殿さま、藤堂高虎さんが大好きな白い虎のキャラクター。毎年行われている「津まつり」の「高虎時代絵巻」という時代行列を応援するためにやって来ました。ほかにも、あちらこちらのイベントに遊びに行くのを楽しみにしている、津市の「歴史おべんぎょう部長」です。

歴史

- 趣味 乗馬じや
- 長所 明るく元気なところじやよ、ちよつと自慢できること
- 伯父上が織田信長さんじや！最近ハマっていること
- 津市のPRじや
- 好きな食べ物 津ぎょうざ、うなぎ、天ぷらじや
- 好きなスポーツ やっぱり乗馬じやな
- 好きな本 「江〜姫たちの戦国〜」じや
- 好きなテレビ番組 大河ドラマじや
- 好きなブランド 織田家・浅井家・徳川家がいいのう
- 好きな車 車よりも馬じやな♡
- 好きな場所 伊勢上野城と安濃津城が落ち着くのう
- 好きな色 ピんぐじや
- 好きな言葉 「おのれを信じ、おのれの思うまま存分に生きな」。これじやよー！

かみふにも行ったことがあるんじやよ！



江(こ)姫がモデルなのじや！
近江国小谷(おだて)城に居を置く戦国大名、浅井(あざい)長政を父、織田信長の妹、市を母に生まれた三姉妹(茶々、初、江)の三女「江」を主人公とした、平成23年のNHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」(田淵久美子原作)放映に伴い、江姫をモデルに誕生したキャラクター。

父の長政は江の生後間もなく織田軍により滅ぼされ、小谷城が落城。その後、伯父である信長の弟、信包のもとに預けられ、三重県津市にあった伊勢上野城(現在の河芸(かわづ)町、本城山青少年公園)と安濃津(あのつ)城(後の津城、現在はお城公園)で、母、姉妹と一緒に幼少期を過ごしました。

後に徳川二代将軍、秀忠の正室、三代将軍、家光の生母となった江姫は戦乱にほんろうされながらも天真爛漫(てんしんらんまん)で好奇心旺盛、一徹な性格で戦国時代を力強く生き抜いたといわれています。

「Goちゃん」も同じくとっても元気な女の子♪津うキアラの中で一番早くフェイスブックなどSNSでの情報発信を開始するなど、津市の「観光おもてなし部長」として活躍しています！



Goちゃん



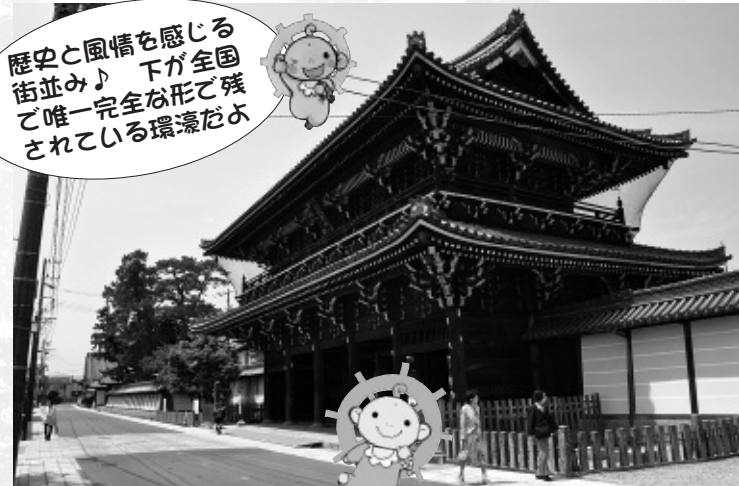
しん坊くん

住所 津市一身田寺内町
特技 盆踊り
性格 聡明でかしがり屋さん。懐が深い
好きなもの 一身田の古い街並み
その他 後光がさすところもあるよ

一身田寺内町のPRキャラだよ
今もなお古い街並み、周りを囲む環濠(かんごう)が昔のまま残されている一身田寺内(いつしんでん)の町をPRするキャラクターで、この地域が国の重要文化財指定施設のある真宗高田派の本山、専修寺(せんじゆじ)にも発展してきた歴史から、宗祖親鸞聖人の幼少期をイメージ。とても聡明ですが、人が集まるイベントが始まるとうれしくなって出てきて、会えた人には幸せが訪れるといわれています。

本名は「高田身一(たかだしんいち)」で、誕生日は親鸞聖人の誕生日を祝う一身田の恒例行事「降誕会(こうたんゑ)」が行われる5月21日！かわいい妹がいるというウワサがあり、「しん坊」という「セモノ」が出てきたことが最近の悩みとか…。津市の「ほつとするに一身田部長」です。

※「しん」は方言で「よ」の意味



歴史と風情を感じる街並み♪下が全国で唯一完全な形で残されている環濠だよ



きれいな森(上)と
国の指定名勝「三多
気の桜」(中)、美杉
の夏の風物詩「手筒
花火」(下)だよ



みあぎん

住所 美杉の森
趣味 美杉の森のおさんぽ
特技 手に持った枝で癒せる
性格 人なつっこい
好きなもの 美杉の豊かな森や川
その他 みんなも美杉の森で癒され
てほしいな

美杉の森の妖精だよ

津市森林セラピー基地マスコットキャラクター「みあぎん」は、美杉の森の妖精。人なつっこい性格で、手に持っている枝でみんなを癒す、津市の「美杉いやしの森部長」です。
津市美杉町は全域が赤目二志峽(あかめいちしきょう)県立公園、西部の山岳地域が室生赤目青山国定公園に指定され、面積の9割が森林。大洞山(おおほらやま)など1千m級が連なる山々には自然歩道が整備され、国の指定名勝で日本さくら名所100選の三多気(みたけ)の桜、北畠氏館跡(きたばた

けしやかたあと)庭園、霧山城址などたくさん観光名所があります。
この環境を生かして行っているのが「森林セラピー」。従来の森林浴から一歩進み、呼吸法やヨガ、アロマテラピーなどを組み込んだ心のリラクゼーションプログラムや森林ウォーキング、ノルディックウォーキングなどのフィットネスプログラムを行うもので、癒しの効果、病気の予防効果が科学的に裏付けされています。
拠点は桜の名所、君ヶ野ダム湖畔や高束山(たかつかやま)を中心とした君ヶ野拠点、清流に沿って林道が整備



された平倉拠点、美杉唯一の温泉、火の谷温泉周辺を散策できる火の谷拠点などの6つで、特色の異なる12のセラピーロードが設定されています。
平成26年公開の映画「WOOD J OB! (フッジョブ)」神去なあなあ日常」の原作、林業をテーマにした青春小説「神去なあなあ日常」(三浦しをん作)の舞台、神去(かおさり)村のモデルといわれ、映画のロケも行われました。

自然



これが長徳寺の龍王桜。写真が白黒なのが残念ね…



龍王さくらちゃん

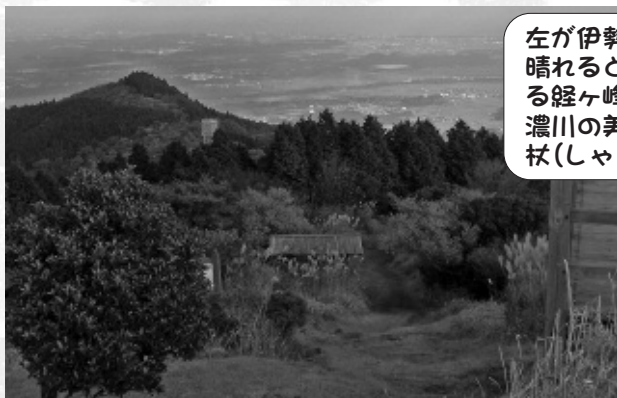


住所 長徳寺の前の淵
趣味 みんなと一緒に踊ること
特技 マラソン、おきこい
性格 元気いっぱい
好きなもの 龍王桜

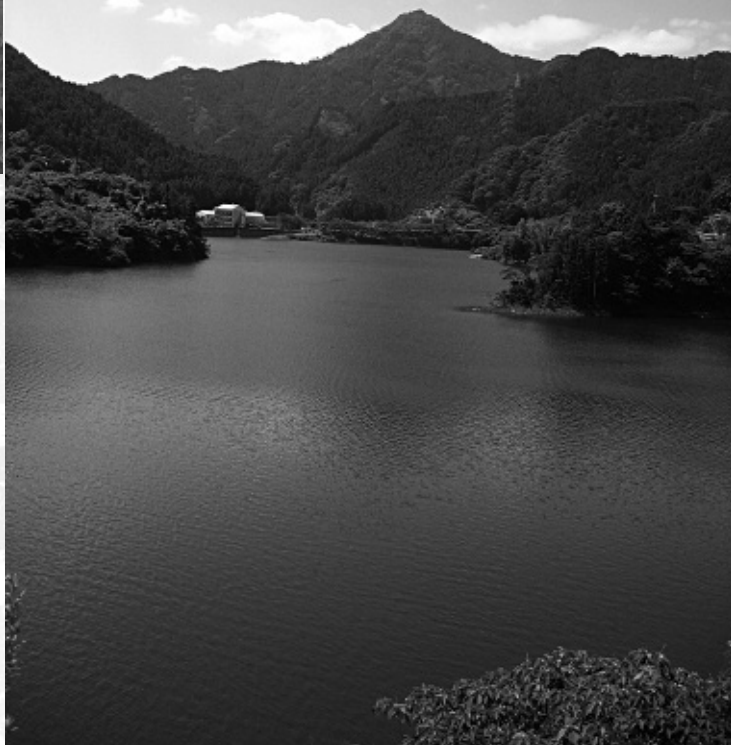
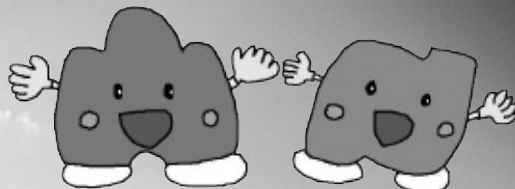


龍王ちゃん

龍王桜の親子キャラクターだよ
芸濃(げいの)町の雲林院にある長徳寺の前の淵に住むといわれた龍が天に帰るとき、うろこごとにも残した桜の種から育ったという「龍王桜伝説」から生まれたキャラクター。
「龍王桜」は「フゲンソウ」という室町時代から知られている古い品種。葉と花が同時に出る珍しい桜で、県の天然記念物にも指定。龍王ちゃんは毎年開花時期に行われる「龍王桜マラソン」のPRをきっかけに登場し、平成25年には娘の「龍王さくらちゃん」が誕生。芸濃町で行われるさまざまな行事に参加し、津市の「芸濃ハッスル部長」としてその場を盛り上げるお祭り大好き、元気いっぱい親子です。



左が伊勢平野を一望、晴れると富士山も見える経ヶ峰山頂。右が安濃川の美しい水源「錦杖(しやくじょう)湖」



アンちゃん&ノンちゃん

住所 安濃町の山や川
趣味 ハイキングや川遊び
特技 アンちゃん&ノンちゃんのコンビネーション!
性格 落ち着いこいる
好きなもの 安濃地域の自然
津市安濃(あの)町のPRコンビ
平成12年に誕生。アンちゃん(A)は安濃町の雄大な自然と経ヶ峰(きよがみね)きよがみね、ノンちゃん(N)は安濃川をイメージ。津っキャラの中でも体の大きなコンビで、津市の「安濃のしぜんだいすき部長」です。

グルメ

ツヨインジャー
 まじめで優等生の女の子。ツヨ
 シッドとイエローのお世話役。実質
 上のリーダー。甘いものが好きで、
 好物は津名物の「いちご大福」

ツヨインジャー
 ツヨインジャーの自
 称リーダー。好物は炭
 火焼きの津のうなぎ、
 特技はうなぎのバルー
 ンアート。かわいい女
 の子が大好きであっさ
 りつられるのが得意

ツヨイエロー
 くいしんぼうのふ
 こつちゅさん。好物は
 津発祥の天ぷらや味噌
 カツをはじめ、津のお
 いしいものならなんど
 も食べ、飲む。お腹が
 膨れており、コア・
 ファイターが内蔵され
 ている可能性あり



津に来て戦隊 ツヨインジャー

津市民のソウルフード「うなぎ」。みんなと
 にかく大好きでよく食べていて、1人当りの
 うなぎ年間消費量が日本一だったことも！
 市内にはたくさんのおうなぎ屋さんがあるぞ!!



津市唯一の戦隊キャラなのだ!
 津に来て戦隊「ツヨインジャー」は
 宇田から高速船に乗ってやってきた人
 造人間をマグネットコーティングした
 津の観光PRヒーロー。「津のよい」
 ところを探求、PRして「津を強く(津
 良く)する」のが彼らの使命。
 津のおいしいうなぎ屋さんを紹介す
 る「うまっぶ」を開発し、「津のう
 なぎ」を全国区にすべく活動中。笑
 を大切にしたい観光PRはツヨイン
 ーの満載。津市の「はりきり宣伝部長」
 です。敵は市内で暗躍する秘密結社
 「ゲロフル団」。津の平和を守るた
 め、津を悪の手から守るため、行けツ
 ヨインジャー、叫べツヨインジャー。
 戦いはまだ始まったばかりだ!!



つつみん

住所 津市内の小学校の給食調理室
特技 みんなにおいしい津ぎょうざ
 を届けること
性格 カラっとしているけど中は
 ジューシー
好きなもの 津ぎょうざと子どもた
 ちの笑顔

みんな大好き「津ぎょうざ」の精霊
 学校給食が発祥の「当地グルメ」、津
 の子どもたちに大人気の「津ぎょう
 ざ」の精霊。

津ぎょうざは昭和60年ごろに給食の
 メニューとして提供され、現在では
 「津ぎょうざ協会」も設立。直径15cm
 もある特大の皮(!!)を使い、揚げぎょう
 ざであることが条件とされています
 が、中身は自由。たくさんのお店でパ
 ラエティに富んだ津ぎょうざが食べら
 れます。

つつみんは平成22年2月22日に「津
 ぎょうざ協会」のマスコミキャラク
 ターとして誕生。津の子どもたちを思



こんがりと揚がった
 津ぎょうざ。おいし
 そうでしょ!?



だとか! 津市の「ご当
 地グルメ部長」です。

みんなの気持ちが集まって翌23年6
 月、津ぎょうざの精霊に!
 給食の調理員さんの「こんなものを
 食べさせたいな...」という思い、津
 ぎょうざを食べすぎて大きくなった子ども
 たちの「津を元気にしたい!」という
 思い、そういったみんなの温かい思い
 がつつみんの元気の源です。

名前の由来は「津+ぎょうざをツ
 つむ+津市民」で「つつみん」、精霊
 なので性別はなく、着ているのはエプ
 ロンのようですがチャイナドレスなん

レジャー



9月19~24日には津市・上富良野町友好都市提携20周年記念レースを開催！優勝者へ上富良野町から副賞の授与のほか、来場者には記念品配布や特産品販売なども行われるよ♪



住所 津市藤方671 ボートレース津
趣味 ボートレース観戦
特技 ツキを呼び込む
性格 温厚
好きなもの ボートレース津のお客
さんとおふれあうこと
その他 きれいで楽しいボートレース津に遊びに来てね



ツッキー

ボートレース津に住む4人家族
昭和27年に誕生した国内で初の競艇場「ボートレース津」のPRキャラクタで、妻のツッピー、子供のツクンとツッコの4人でレース場の競争水面に住み、フェイスブックでレースの開催情報をお知らせするなど、ボートレース津の「もりあげ部長」として活躍しています。
左の写真の右端にある貝殻模様の大きな施設、その名はなんと「ツッキードーム」！1階から4階まで出入り可能な多目的映像ホールで、座席数は673、臨場感たつぷりのレースを36面マルチビジョンで観戦できます。ステージと座席は可動式となっており、さまざまなイベントに対応します。

住所 河芸町一帯
趣味 ジャンプ
特技 Kの字ポーズ
性格 しっかり者で元気いっぱい
好きなもの 河芸のお祭りやイベント
その他 4人家族のおんせら



がーぶ
河夢ちゃん

マリーナ河芸は全国でも珍しい掘り込み式マリーナ。伊勢湾の新鮮な食材も楽しめるよ



「道の駅かわげ」には津の美味しいものがいっぱい！左下が「ドーうなっ津」、右下が人気No.1「津ぎょうどドッグ」



河芸町の未来と夢を体現
平成6年に誕生した津市河芸(かわげ)町のPRキャラクタ。河芸の「河」とドリームの「夢」を合わせ、未来に力強くはばたくという意味を込め、また町民一人ひとりの夢が実現するよう英語の「DREAM」(やっつて来る)の発音にもちなみ「河夢(かーむ)」と名付けられました。
人が未来に向けてジャンプ(飛躍)するイメージで、河芸のローマ字の頭文字「K」を圖案化。子どもから高齢者まで幅広く親しまれている、津市の「河芸ウェルカム部長」です。

津と上富良野を結ぶ2人の男 田中常次郎と吉田貞次郎

明治30年の入植に始まった開拓、大正15年の十勝岳大噴火による泥流被害からの復興。上富良野の歴史的転換点ともいえる、この2つの史実の中を生き延びた三重県津市出身の田中常次郎と吉田貞次郎。友好都市提携の発端となった「上富良野開拓の父」「上富良野復興の父」と称される2人についてお伝えします。

上富良野開拓の父 田中常次郎

北海道への決意
三重県安濃郡安東(あんとう)村大字
納所(のつご)の農家、田中家はもともと

と下総国(しもつさのくに)、北関東周辺(田中城の城主でしたが、北畠家の家臣として伊勢の国米城の合戦で戦死し、遺族はそのまま伊勢にとどまり常次郎が三代目。

当時「伊勢は津で持つ」と歌われる



上富良野町開拓記念館前にある
田中常次郎の銅像

ほと菜え人々の生活も派手だった津では、農民の中にも仕事には外出用の着物は着て下駄(げた)を履き、途中で着替えて野良仕事をし、帰りにはまた着替えて帰ってくる者、金遣いが荒く農業だけでは食へていけず借金を抱える者も

あり、労働を嫌うあまり徐々に土地が商人の手に渡ってしまつ有様。

そんな状況の中、田中家は武士の待遇を受ける農民、郷士(ごうし)として農業を営んでいましたが、父親が米相場に手を出して失敗。郷里では農業をしていくうえで望みを抱くのが難しい現状もあり、常次郎は家運を立て直すべく北海道に渡ることを決意します。

周囲は「北海道は熊の多い、囚人の行くところ。そんなところに行くほどの決心なら、ここでどんなことでもできる」と猛反対しますが、明治29年7月、家族にも無断で北海道幌向村(現在の南幌町)に向け旅立ちます。

常次郎38歳の時でした。

いよいよ北海道へ

三重県から北海道への移住者で組織する「三重団体」。常次郎が向かったのはその団团长、安濃郡岩田村(現在の津市)出身の板垣賛夫(よしのぶ)のものでした。

幼少期から成績優秀、多くの公職を務め、農家の生活改善のため農業組合を組織、夜間学校を設け教育を行うなど、不況と不作にあえぐ農民の指導と農村の再建に全力を傾ける板垣でしたが、勤勉に努力を重ねても余裕のある暮らしには程遠い現実。岩田村は人が多く土地も限りがあり、将来に限界を感じた板垣は北海道への移住を決意。明治26年、移住団体を組織して幌向村

パンケソーカ(現在の南幌町三重地区)へ向かい開墾に着手しました。

そんな板垣を頼り移住の相談をしてきた常次郎は、2戸分の土地をもらう約束をして安東村に戻りますが、その話を聞きつけた人々からも移住を希望する者が現れます。

そこで、あらためて移住団体を組織する必要が生じ、団团长を板垣、副団团长を常次郎として規模を拡大。県内に広く希望者を募集したところ結果は良好で、北海道庁からフラヌ(富良野)原野に150戸分の土地の貸し付けを受けることとなりました。こうしていよいよ明治30年(1897年)3月28日、敦賀丸に乗り、北海道に向け四日市港をたつたのです。

※乗船した三重団体一行の人数は484人、411人など諸説あります

フラヌ原野に行く

途中、大しげに遭いながらも何とか小樽港に到着した一行は鉄道で歌志内へ向かい、三重からの先陣により既に開拓が始まっていた現在の赤平市平岸へ。長い船旅を終え、みぞれまじりの雪が降る中、屋根のない石炭を運ぶ貨車に揺られ、最後は10kmほどを歩き同郷のもとに一度荷をほどきました。

その後、副団团长の常次郎、7人の組長が入植地の調査に向かいます。赤平からは空知川をさかのぼるルートのほか、空知川を下り、石狩川との合流



フラ又原野に行く常次郎たち(「読みきかせ会 ムーミン」が製作中のふるさと紙芝居「十勝岳だいはくはつ」の1場面)

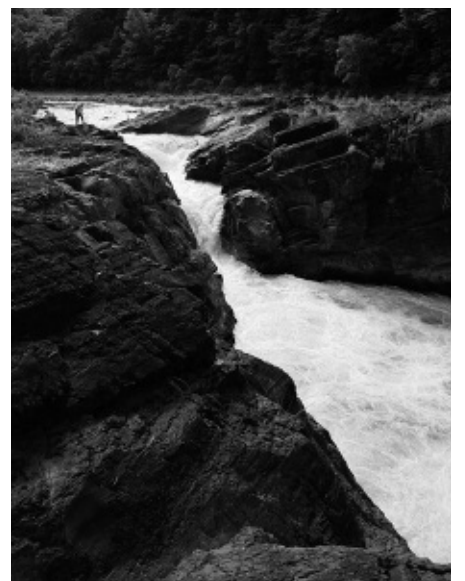
点である空知太(そらちぶと、現在の滝川と砂川の境界付近)から神居古潭を通って旭川へ抜ける2つのルートがありました。8人は空知川を上りフラ又原野をめざしました。

まず一行を待ち受けていたのが、江戸時代末期に蝦夷(えぞ)地の探査を行った松浦武四郎の著書にも登場して

いる交通の難所、現在の滝里タムのすぐ下手にある空知大滝(空知別市)。武四郎もここで足止めさせられたほか、明治20年に植民地選定作業のためフラ又原野に入った柳本通義も同様でした。

選定作業の際は荷物を船に載せ、船を引きながら川沿いを移動していましたが、柳本はここで新しい丸木船を作り、下流の古い船を陸に揚げ新しい船で旅を続けたとの記述から、滝に船を通すことも陸上を運ぶこともできないため、やむを得ず滝を越えた所で船を造り先へ進んだと推察され、当時の激しい水流と落差の大きさ、地形の険しさがつながえます。常次郎たちの家族をはじめ後に入植した人たちはこの大滝を避けるため、距離的には遠い旭川経由でフラ又原野をめざしました。

一行は行く手を阻むこの難所を越えてフラ又原野に入り、その後は富良野



現在の空知大滝

川沿いに歩を進めて上富良野に至ったと考えられています。こうして明治30年4月12日、8人は現在の草分地区、西3線北29号175番地に立っていた楡(これ)の木の下に、ようやくくわらしのひもを解いたのでした。

「ここは樹木が少く何か広々とした感じであつて乾燥していた。附近は『かや』や『すすき』の原野でそのまんな中に楡の木が一本立っていた。森や林をなしていたのではなく、独立木だったので一行八名はこの木の下で野宿することになったのである。」

(上富良野町史)

今から120年前、故郷を遠く離れ、まだ冷たい春の風に吹かれながら1本の楡の木の下で、残雪をいただき噴煙を上げる十勝岳を見上げていたであろう8人の男たち。この日から、上富良野の新たな歴史が動き出したのでした。



農場開拓の様子(上)と開拓期の暮らしぶりを伝える写真(下)
 ※写っている場所や人物などは常次郎とは関係ありません
 (北海道大学附属図書館所蔵資料)

野草を食っても開墾は…

4月14日に川を下り平岸に戻った常次郎たちは5月10日、今度は家族とともに滝川経由で再びフラ又原野をめざします。旭川で炊事道具などを購入、以後は途中2泊し、美瑛以南は道なき山林の中を進みます。苦闘の末たどり着いた上富良野の地でしたが、生活は決して安泰ではありませんでした。入植者の多くは開墾について経験のない者ばかり。それは常次郎も同様ののこぎりの目の立て方さえも知らず、

きこりから教わりながら伐木していたよつで、入植者の中には倒木の下敷きになって亡くなった者もいました。

また、資金的にも十分でなかったため思ったような進捗を得られず、しかもその年は天候不良で収穫は皆無。多くの人が旭川に出稼ぎに行つたため開墾が進みません。そこで、常次郎は道路の開削工事を起こせば交通の便が良くなるだけでなく、工事により生活の糧を得ることで開墾が円滑に進むと考え道庁に掛け合つたご奔走します。

た「北海道開拓秘録」といいます。

そうして迎えた3年目、よつやく実に恵まれ、翌33年には鉄道も開通。交通が便利になる一方、物価が高騰したため地理的不利を感じた常次郎が旭川の金子庫三に自身の敷地内に店を開かせ物資の供給、販売を依頼したことで生活の利便性が向上。開墾も徐々に軌道に乗り、入植から6年目の明治35年、ついに予定地の開墾がすべて終了し、晴れて道庁から土地の払い下げを受けるに至つたのでした。

貧しさと寒さに耐え

明るい兆しが見え始めたものの、当時の生活は厳しいものに変わりはありませんでした。

「米は二、三升買って置いて正月と盆に食する位で、後米が穫れる様になつても馬鈴薯を糞の目に切つてかて飯(※)として食つた。井戸を掘つても出る水は硫黄臭い赤褐色なもので到底飲めぬ。川は可なり大きいのが原野を流れ、幾万年間の倒木が川を埋めてゐるので水が停滞して流れず、従つて流域の原野は排水がきかず、湿潤で耕作に甚だ困つた。それに硫黄臭が多い為魚類がらないので、食用魚はミガキ鱈と塩引き鮭が最上で、且つ唯一の魚肉であつた。こんな風だからダシを使ふ時は、粉イリコを旭川で買つて来て、その中から頭を克明に拾ひ集めて目を糸で通してつなぎ、粉は袋に入れて使つては乾し、五、六回用ゆると言ふ生活振りだつた」(北海道開拓秘録)

そんな生活の中でも三重団体のフラ又原野開拓団の団長としてあらゆる方面に心を配り、鉄道敷設のための役人や作業員の宿舎、開業医の医務室に自宅を提供するなど多くの犠牲を払つた常次郎でしたが、道路工事の関係を不正をしたとの悪評を立てる者が…。潔癖症の常次郎はすべての公職をやめようとしていますが、周囲から強く引き止められたとあります。

三重で郷土として暮らしていた家と

※かて飯とは、米の分量を抑え、かさましするため雑穀や野菜などを入れて炊いたご飯のこと



現在は周囲に美しい田んぼと畑が広がっている榎の木の跡。ここからフラヌ原野開拓の歴史が始まった

は打って変わって粗末な「九尺二間」(※)の「拝み小屋」。畳などは当然なく、床にあるのは荒むしろ。飯を炊くのも

汁を煮るのも一つの鍋で済まし、缶詰めの空き缶がやかん代わり。薪は豊富にあるものの、生木のためくすぶるばかりで家族は全員眼痛に悩み、屋根裏のクモの巣にか

かつた黒いすずには白い霜。家の入り口は板戸ではなく、荒むしろがただぶら下がっているだけのため、朝目が覚めると布団の襟も霜で真っ白。夜中に野ギツネが3、4匹家の中に入ってきて、いろりのそばで寝ていたとの記述もあります。

「野良稼ぎ中、蛇や蚊やブヨに攻められるには閉口した。之が防除法は棒を芯にしてボロ布を縫ひ付け、その先端に火をつけて燻ぶらせそれを腰に挿して置くのだ。こんな事情は長閑な平和な内地の農村の者の、夢想だも出来ぬ事情

で、哀れを越して滑稽である。老婆も母もこんな惨状に泣き、子供等もなんとなき事だ。常次郎は常時も『因縁事と諦めなはれ、将来を楽しみに辛抱しなはれ』と慰めてた。〜中略〜

常次郎は大正四年病を得て、枝に野宿の鍋を吊下げた榎の木の下で、素志を貫徹した満足の裡に、四月二十日



両手を合わせたような形から「拝み小屋」と呼ばれた入植当初の住居を再現したもの。この小屋の広さは間口9尺(約2.7m)、奥行き3間(約5.4m) (遠別町教育員会提供)

後、草分神社前に移設。今もその偉大さを伝えていきます。

に往生した。大正二年に死んだ母も事業の成功を嬉しがってくれた。苦労をかけた妻も辛抱し甲斐があつたと喜んでゐる。そして彼の業績は三重団体の寺院境内に建立された記念碑に永久に遺されてある。」

(北海道開拓秘録)

享年58歳。津市出て海を渡り、飢えと寒さに耐え、途方もない労苦の末に原野を切り拓いた常次郎。この上富良野の地の礎を築いた功績を讃え大正5年8月、専誠寺境内に建立された頌功碑はその



「三重団体組織総代 田中常次郎君」と刻まれた頌功碑

※九尺二間は、間口約2.7m×奥行き約3.6mの広さ

上富良野復興の父 吉田 貞次郎

模範村長さん

明治18年、三重県河芸(かわげ)郡一
身田町に生まれた貞次郎は、元津藩士
で当時は米穀商と製油業を営んでいた
父定吉とともに、尋常小学校を卒業し
た明治33年、上富良野村三重団体(現
在の草分地区)に移住しますが、父に
とっては不慣れな農作業。弟たちはま
だ幼く、16歳の貞次郎はほとんど一
人で朝から夜遅くまで開墾に精を出す
一方、自学自習にも励んだといえます。

26歳の若さで村会議員に当選。その
後7期連続で選ばれたほか、北海道凶
作救済会委員など数々の要職に就くな
ど人望が厚かった貞次郎は大正8年、
一級町村制が施行された村の自治権限が
拡大し、その選出において間接的なか
らも民意が反映されるようになって初
めての村長に35歳の若さで選任。初の
地元選出の村長でもあり、村民の大
きな信頼と期待を背負っていたことがう
かがえます。「上富良野百年史」に
は、貞次郎による「村長就任二当り吏
員一同二対スル挨拶ノ要旨」と題した
10の項目からなる訓示が掲載されてお
り、その最後には彼の人柄をしのばせ
る次のような一文があります。

吉田貞次郎村長(当時)
(上富良野町郷土館所蔵資料)

「以上要スルニ官僚臭味ヲ脱却シ華
ヲ去リ実ニ就キ、広キ襟度ニテ吏員互
ニ協同シ村有志互ニ一般人士ノ愛敬ヲ
受ケル様心掛ケ学校等トモ協力シ、
所謂和氣鬻々ノ裡ニ役場内部ノ整頓
ヲリ、一村福祉
ノ増進ヲ期セラ
レトフ切望シ
テ止マサルナ
リ。」(官僚的な
発想や行動を排
して、地道で誠
実に、心を広く
持つて皆と互い
に協力し合い、
村民から親しま
れ、信頼される
よつ心掛け、和
気あいあいとし
た雰囲気の下に

役場内部をまとめ、村の福祉を増進し
ていくという気概を持ってほしい)。
また、大正13年2月1日付けの北海
タイムス(現北海道新聞)8面には「模
範村長さん」と題した次のような記事
が掲載されています。

◆上川支庁管内でも模範村の模範村長
と云はれて居る吉田貞次郎さんやはり
模範村長だけあつて服装から総べて倭
約で動作がちがふ◆背広の服に乗馬形
のツボン靴下は白外に出れば、それに
ダルマ、マント、ゴムのデンプン
靴この姿で農政協会の一行や記
者を迎へに来て呉れたが記者は
よもや、これが吉田村長とは気
付かなかつた◆吉田さんは仲々
働くんだ、大抵の人なら村長さ
んともなれば髯ををひねくり俺
こそ村の長でござるとおさまり
返つて居る処だが吉田さんはそ
うじゃない◆記者が肥と一目見
て居た眼に映つた処ではお茶は
自らついで出す、炭は運んで自
ら火鉢に入れる、ストーブの薪
は入れる、こう書いたらば働く
のでなくて給仕が居ないのだら
うと云うだらうがさうじゃない、
大きい五尺位な背の高い給
仕が居る、小使も居る◆吉田さ
んは給仕も小使も居るが、出来
る事は自分でやると云ふ主義ら
しい、所謂官僚式でないのだ、
階級と云ふ事は頭にないのだ、

これなればこそ村の人達からも吉田さ
んは人格者だと尊敬されるのだ◆世の
長たるもの総べて斯くありたしだ、こ
れを見ても部下を如何に可愛がつてあ
るか云ふ事が窺はれると同時に役所
内の空気も至極平和である云ふ事が推
して知れる(記者)

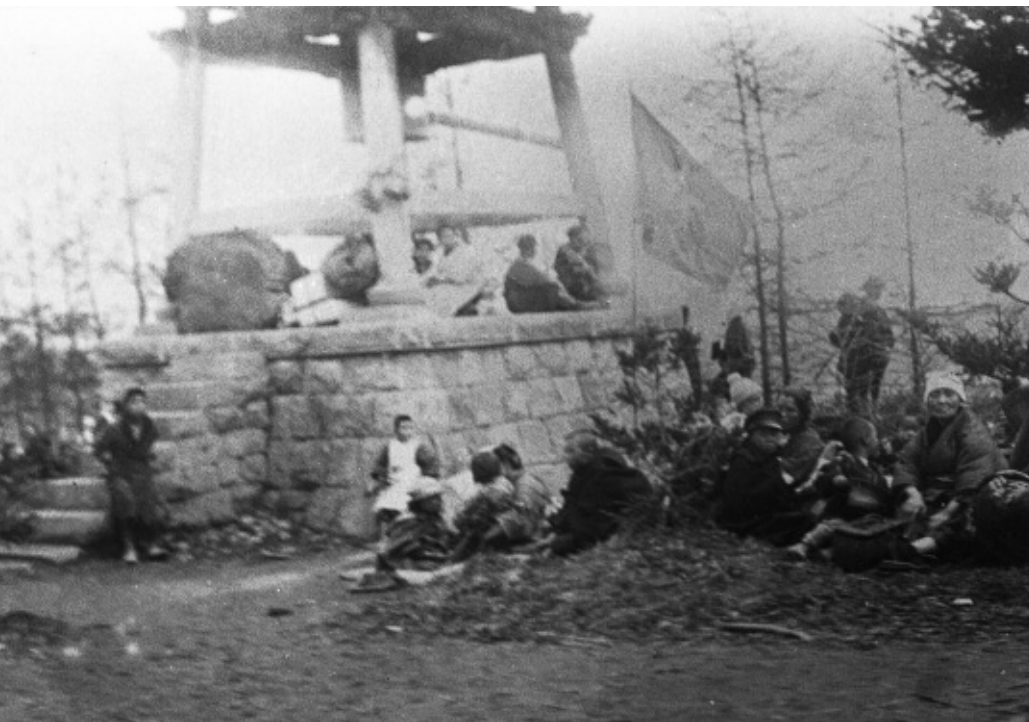
決しておごらず、謙虚に、誠実に。
村民の信頼も厚い。そんな貞次郎を試
すかのように、あの未曾有の大災害、
十勝岳大噴火が襲いかかったのです。



市街地から望む大正15年の十勝岳噴火(上富良野町郷土館所蔵資料)



あたり一面を覆い尽くす流木(上富良野町郷土館所蔵資料)



明憲寺院内で露営する避難民(上富良野町郷土館所蔵資料)

この日の夕方も山の鳴動があり人々は小高い場所にある明憲寺に避難しますが、本堂や庫裡(くら)では避難者が重なり合って露をしのぎ、鐘楼(しょうろう)付近では地べたにおしるを敷いて雑魚寝をする人が千人にも達し「焚出しの握飯を暗がりの中で、ムサボリ喰ふ惨状は言語に絶した」(十勝岳爆発災害志)といひます。

降り続く雨の中、丘の上で夜を明かした罹災者は、救護隊が市街地から調達した衣服をわずかにまとい、炊き出して飢えをしのいではいましたが、わが身に起きた出来事の壮絶さに極度の恐怖に襲われ、ただただぼっぜん自失。

「村長は先づ災害の程度、避難の状況を知るため吏員、村会議員、部落部長等を九班に分ち、午前四時、黎明を待つて夫々罹災地に向はしめ、夫れと同時に、更に生存者の救護、罹災者の収容、死体搜索、食料給与等に従事の為、全村に激して住民会、在郷軍人分会、自警団、青年団、婦人会等の総動員を行つた。」(十勝岳爆発災害志)

入植から30年、一面が泥の海に
大正15年5月24日午後4時17分、十勝岳が噴火。残雪を解かして大量の水を含み「山津波」と化した泥流が約25分でふもとに到達、一気に町をのみ込みました。当時の上富良野村の死者行方不明者は137人。水田約500ha、畑約200haが泥の海に沈みました。
「五月二十四日午後五時頃、災厄が

突如として上富良野村を襲うや、市街地の消防組員、自警団員、青年団員等は折柄の雨を盲して出動し、警鐘を乱打して急を告げ、村役場にては執務中の吉田村長は、吏員を督励して雨中に逃げ惑ふ避難者を比較的高地である上富良野駅、村役場、学校附近及市街裏の明憲山に避難せしめたが、泥流によつて運ばれた死体は続々発見され、幸

にして生を得たものは泥中であつて声を限りに助を叫び、号泣悲鳴、凄惨限りない修羅場を現出した。」
(十勝岳爆発災害志)
電話線が流されたため、貞次郎は鉄道電話を使い富良野町、滝川町を経由してよつやく午後8時、上川支庁に応援要請。時を同じくして、交通が途絶している新井牧場(現在の日新地区)、

三重団体方面に甚大な被害が想定されるため、金子浩助役の指揮のもと約20人が「決死隊」を組織し状況探索へ。翌25日未明、戻ってきた搜索隊からは新井牧場、三重団体がほぼ全滅に近いという驚愕の事実が報告されます。
「村長は先づ災害の程度、避難の状況を知るため吏員、村会議員、部落部長等を九班に分ち、午前四時、黎明を待つて夫々罹災地に向はしめ、夫れと同時に、更に生存者の救護、罹災者の収容、死体搜索、食料給与等に従事の為、全村に激して住民会、在郷軍人分会、自警団、青年団、婦人会等の総動員を行つた。」(十勝岳爆発災害志)

新たに蜂巣の様な 小噴火口発見

出水の原因は加熱せる水蒸氣
が一時に爆發して雪を融した
今後爆發の危険なし
東北大學地質學部大田厚士助教授

岩手県内、大田厚士助教授の調査によつて、小噴火口の新発見は、蜂巣の如きものである。この噴火口は、雪の下にあり、水が加熱されて水蒸氣が一時に爆發して雪を融かす。今後爆發の危険はないとされている。

濁流中の一夜 老夫婦救はる

ビール箱の上で御念佛
平然として動かぬ

岩手県内、大田厚士助教授の調査によつて、濁流中の老夫婦の救出が行われた。彼らはビール箱の上で御念佛を唱へ、平然として動かぬ姿を見せてくれた。



旭川聯合青年
通信に當る

富良野の惨害

富良野聯合青年通信に當る

富良野方面の 水田引水に困難

到底平年作は望めぬ

富良野方面の水田引水に困難が生じている。到底平年作は望めぬとされている。

伏古水田組合 罹災農民へ同情

入地せざる水田引水を
希望者へ便宜貸付す

伏古水田組合は、罹災農民への同情を示し、入地せざる水田引水を希望者へ便宜貸付すとしている。

吉田村長の母 室死体発見

室に閉居して居た

吉田村長の母の室で死体が発見された。室に閉居して居たとされている。

宿屋は大混雑

避難民の増加

避難民の増加により、宿屋が大混雑している。

泥津に紛れ水 事泥を齧く

避難民の苦状

泥津に紛れ水、事泥を齧く。避難民の苦状が描かれている。

大正15年(1926年)5月30日付け北海タイムス(現北海道新聞)の9面。右側中段に当該記事

村では83カ所に避難所を設置して被災者への炊き出しや被服の配給、死体捜索、流木除去などの作業に全力を傾けます。村長としてその陣頭指揮に当たっていた貞次郎の様子を、大正15年5月30日付けの北海タイムスは「吉田村長の母室死体発見 形ばかりの葬儀を営む」の見出しで次のように伝えていきます(実際の紙面は上段)。

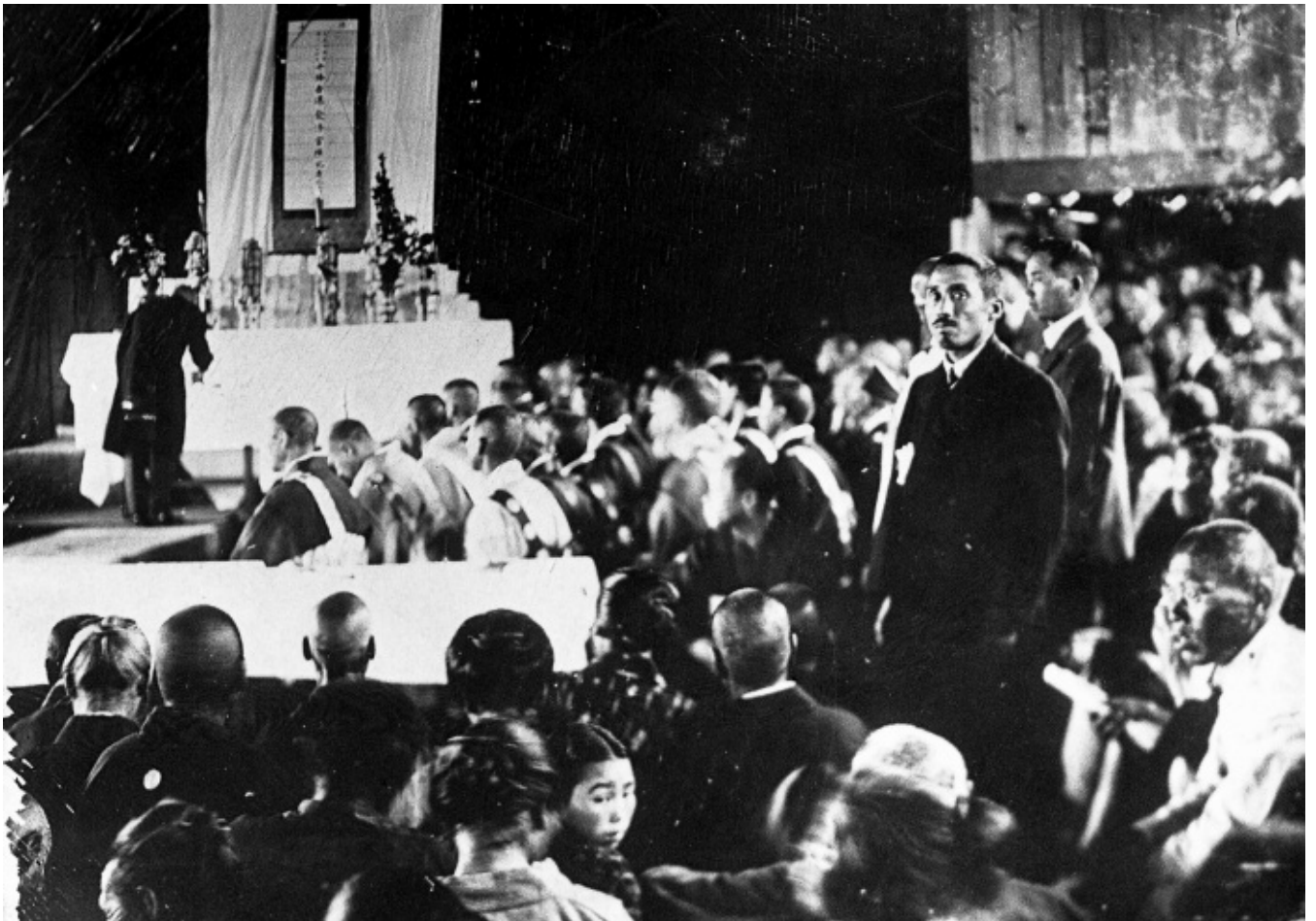
【二十九日上富良野電】老母があの暴虐な惨禍に痛ましい犠牲となつたにも拘らず、罹災者救護や惨禍後の復旧等に不眠不休先頭に立つて活動して居る吉田村長に対しては全村民拳つて衷心より感謝して居るが、二十七日夕刻母室の死体が発見されたけれ共村長は寸暇なく、二十九日午前二時形ばかりの弔ひを為したが、孝心篤き氏の心情を察して村民は共に涙に暮している。

自宅は泥流により半壊。妻子6人は九死に一生を得たものの、母親を亡くしてもなお帰宅せず、必死に村民の救護の指揮に当たった貞次郎。母の葬儀のため帰宅し、白布に覆われたその姿



減水後の吉田村長宅(上富良野町開拓記念館所蔵資料)

復興への決意
「而も泥流に依つて運ばれたものは、殆んど樹皮を剥ぎとられ、木質も甚しく痛んだ約二十万石の大木であった。是等死屍の如き流木が累々として泥土を蓋ふた荒野の姿を見當々苦心三十



十勝岳噴火から49日目、7月11日に営まれた村葬。右手前が吉田村長(上富良野町郷土館所蔵資料)

年、血と汗によって築かれた地上の一切が、瞬間にして影を潜めた事を思ふ時、誰人も自然の暴虐な力に戦慄せざるを得ないであらう。」

(十勝岳爆発災害志)

明治30年の入植から30年、木を切り倒し、必死に開墾してきた大地を覆い尽くす泥と流木。流された家、めくれ上がった線路、泥の中に埋もれ、真黒になって、膨れ上がり、どこ誰のなかも、性別すら判別できない死体。硫黄を含んだ土は火をつけると燃えるほどだったといひます。

泥の大地が再び豊かな実りを迎えるには想像を絶する労力と時間を要するであろう惨憺(さんたん)たる状況に、放棄して別の場所に移住したほうがいいとあきらめる者、30年にわたる辛苦の末に切り拓いた土地なのだから多額になつても復興すべきと主張する者、もう少し時間をあいて放棄か復興かを見極めるべきとする者などが出る中、貞次郎は復興を決意します。

北海道庁土木部長の加勢清雄をはじめ上川支庁長、旭川土木事務所長らと十勝岳の火口付近の調査に行った貞次郎は泥流が流れた跡、陽光を浴びて青々とした美しい田が広がっていた大地が暗褐色に汚された光景を目の当たりにして、抑えられない気持ちを吐き出し、こう叫びました。

「あの泥に塗れ光を失つた土地こそ吾人(ごじん)の血と汗より成つた美田であ



泥流の到達区域。新井牧場、三重団地を飲み込んだことがわかる(十勝岳爆発災害志)

つた。だが今となつては三十年の努力は空しく消えた。逝ける百有余の同胞は恨を呑んで彼の世に旅立ったであらうが、残れる多数の村民は家なく土地なきこの村に在つてどうして復興の途を講ずべきかと。中略、村長は先程より黙考して居た加勢土木部長に向ひ『部長さん！ 自分達村民は三十年の苦心を今一朝にして見捨てる事が出来ない。石に噛り付いてもあの土地を復旧したいと思ふ、どうか我等の微哀を汲んで下さい』聞き終つた部長は強く頷き、決意の程を示した。居合せた人々もこの村長の血を吐くが如き熱烈なる希望を聞き思はず暗涙を催したのであつた(十勝岳爆発災害志)

※吾人とは「われわれ」の意味



反村長派の暗躍

「家が流失をまぬがれたということ
で、村長一家は、かえって村民の前に
肩身を狭くしているようであった。鍋
でも家具でも、茶碗でも夜具でも、与
えることのできるものは、すべて率先
して寄贈していた。食事はいつも、麦
飯に味噌汁だけで、魚や肉を食べるこ
とは滅多にないという。衣類も、弥生
やていの女の子たちにさえ、つぎはぎ
の着物を着せていた。

村には、被災者に対して、何千個も
の慰問袋が送られて来たが、村長の家
だけは、ひと袋も受け取ってはいな
い。流失をまぬがれたとはいえ、村長
の家も半壊し、泥が家の中に流れこん
だのだ。が、村長は自分の家庭のため
には、義捐の金品を紙一枚さえ受け取
ることはしなかった。まるで、爆発の
災害は、自分の責任であるかのよう
な、あり方であった。」

(三浦綾子著 続泥流地帯)

被災者救済に骨身を削る貞次郎です
が、復興の見込みはなく、多額の費用
を投じるのは無駄だとして、罹災しな
かった市街地の者たちが復興反対期成
会を組織して反対運動を展開。村長を
その座から引きずり降ろそうと画策し
自分に関係する商人に利益を誘導して
いる、義捐金の配分について疑義があ
るなどの誹謗(ひぼう)中傷を流布しま
す。「続泥流地帯」には、次のような
場面が描かれています。

「義捐金はどこにやった」

「家には金がさくさくたつてな」

「復興なんぞさせないぜ」

「命は一つしかないんだ」

とすのきいた声が次々と飛び出す。

余り見かけたことのない男たちだ。も
しかすると、富良野の博徒一家の者か
も知れない。その足の運びや、ものの
言い方に、けんか場の場数を踏んだこ
とを感じさせる。耕作は身の危険を感

じて、次第に男たちから離れた。

だが吉田村長は、落ち着いた足
どりで、ふり向きもせず歩いて
行く。知人を見れば挨拶もする。
耕作は内心舌を巻いた。吉田村長
は、本当に命を賭けて復興しよう
としているのだと、その背からも
感じた。私心のなさが、その足ど
りに見えるのだ。

「やい！ 何とか言え！」

「答える言葉がないんだらう、こ
の泥棒奴！」

罵(のの)つては、声を揃えて「泥棒村
長」を連呼する。おそろしく「泥棒
村長」と連呼することは、彼らを

雇った者の命令であるにちがいな
い。が、姿勢を真つすべにして、

村長は黙々と歩いて行く。男たち
がようやく罵言雑言に飽きた頃、

家並みは尽きた。そこで男たちは、大
声でもつ一度怒鳴つてから、雪玉を村
長に投げはじめた。

ついに、汚職と背任の罪で旭川地
方裁判所に告発する始末でしたが、当
然ながら嫌疑なしで不起訴。一連の紛
争で急を要する復興事業に遅れを生じ
させてはいけなさと村会議員や行政部
長など公職者の有志が集まり、当初ど
おり復興計画を遂行するよう道長官に
陳情する一方、村民の怒りが絶頂に。
反対派の者たちを法に訴えて裁きを与
えるよう貞次郎に迫りますが、彼はこ



客土を終え、作付けを待つ水田(上富良野町郷土館所蔵資料)

う説得します。

「仮令(たと)彼の人々を誣告罪に問ふたと
ころで、同じ村内の住民に対し、兄弟
(あな)にせめ(せ)ぬ(ぬ)の愚(おろ)を敢(あ)てしては、
益々(ますます)村の恥晒(はにか)しとなる計(は)りてなく、更
に朝野(あさの)の一般の人々の同情に対
し、内部に於て問題を起すといふこと
は相済(あ)まる事であるから、血を以て
血を洗ふといふことを避け彼等の悔悟
の日を待たつ」(十勝岳爆発(災害)記事)

反対者たちはその後も「不起訴では
なく起訴猶予」なごころを触れ回
り、試作中の作物を引き抜くなどの妨
害行為を続けますが昭和2年、試作の



水面に十勝岳連峰を写すよみがえった美田では、今年も田植えの季節を迎えた(草分地区の泥流被災地にて撮影)



自宅を移築・復元した上富良野町開拓記念館敷地内に建立されている頌徳碑(左)と三重県津市一身田寺内町の専修寺にある貞次郎の墓(右)

引用・参考文献

- 若林功著 「北海道開拓秘録」 第1編 昭和24年 財団法人 月寒学院
- 三浦綾子著 「続泥流地帯」 昭和57年 新潮文庫
- 「十勝岳爆発災害志」 昭和4年 北海道庁学務部社会課内 十勝岳爆発罹災救済会
- 「上富良野町史」 昭和42年 上富良野町役場
- 「上富良野百年史」 平成10年 上富良野町

結果が良好で復興の可能性が大きく膨らんだのを機に、大方は村外へ出て行ったといえます。

十勝岳爆発災害志の第10章「美談哀話奇譚」には「一家よりも一村の重大事」と題した貞次郎に関するエピソードがつつづられており、最後には次のような一文があります。

「かくて空前の災害に直面しながら、同村が意外に速かに、復興せるは氏の力に依る所極めて大といはねばならぬ。語※3に曰く『歳寒くして松柏の凋むに後るゝを知る』※4と這回の災害に依り氏の如き高潔なる人物を見出し得たるも貴き天の摂理か。」

開拓、そして泥流被害からの復興。

- ※1 兄弟揃にせめぐとは、兄弟や仲間同士で内輪げんかをする事
 - ※2 朝野とは、政府と民間のこと
 - ※3 語とは、論語のこと
 - ※4 歳寒くして松柏の凋むに後るゝを知るとは、寒い冬、ほかの植物がしおれても松や柏の葉は緑を保っていることから、人の真価は困難に遭って初めてわかるということのたとえ
- 上富良野の2度にわたる「開拓」の歴史に敢然と立ち向かった田中常次郎と吉田貞次郎。この2人の三重県津市出身者の存在抜きには、現在の上富良野を語ることはできないのです。

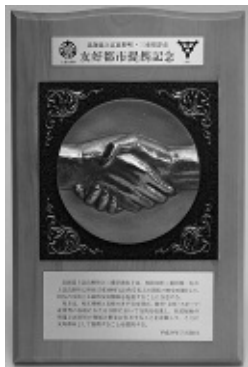


友好都市提携盟約書に署名し握手を交わす当時の近藤康雄市長(右)と尾岸孝雄町長(平成9年)

写真で見る 交流の軌跡

三重団体が開拓の鉄(くわ)を下ろしてから100年目を迎えた平成9年、上富良野町と三重県津市が友好都市提携したほか、常次郎の出身地、当時の安濃郡安東村にある安東小学校と、入植した三重団体の子どもたちが通っていた旧創成小学校の後身、上富良野西小学校も姉妹校提携を結びました。

その前年には両市町のライオンズクラブが姉妹クラブ提携し交流を続けているほか、教育委員会で青少年国内交流事業として3年に1度、小学生を津市へ派遣。観光協会、子ども会、スポーツ少年団や体育協会なども相互訪問を行うなど、官民を問わず交流の輪を広げています。



津まつり会場でもやっぱり人気♥ かみふらのブース前で子どもたちに囲まれるらべとんとゴーちゃん(平成26年)



災害時の情報発信に関する相互応援協定書に署名を終えた前葉泰幸市長(左)と向山町長(提携15周年事業 平成24年)

特集 かみふとつら
ずっとなかよし



津市民訪問団来町(提携15周年事業 平成24年)



上富良野西小児童が安東小学校で上富良野を紹介(平成26年)



安東小児童が来町。ジンギスカンを前に乾杯!(平成25年)

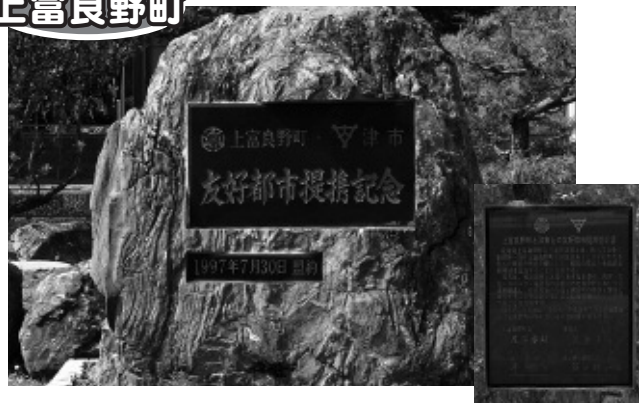


20周年記念合同例会に津ライオンズクラブ来町(平成28年)

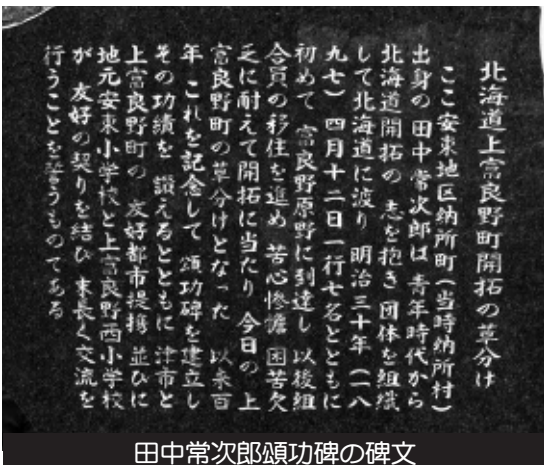
津市



上富良野町



安東小学校の田中常次郎顕功碑前にて(第7回青少年国内交流事業 平成28年)



田中常次郎顕功碑の碑文

祝 20年

上富良野町
三重県津市



友好都市提携記念事業

町では昨年度、町内各関係機関・団体で構成する上富良野町国内交流実行委員会を組織。友好提携事業の窓口となつている津市市民交流課と協議を重ね、下記のとおり両市町において実施する20周年記念事業を計画しました。

また、民間事業者による経済交流として昨年度、町内の有限会社フワフワランドかみふらの(伊藤仁敏代表取締役社長)と株式会社フューチャー・ファーム・コミュニケーション三重(赤塚充良代表取締役社長)とが「相互の地域

農業発展のための『文化・産業交流』協定」を結んだほか、J Aふらの(植崎博行代表理事組合理長)と株式会社横山食品(横山史子代表取締役社長、津市)が手を結び、上富良野産大豆を使用した新商品の開発に着手。9月には津市で、両者間の経済交流に関する協定の締結が予定されています。

友好都市提携から20年。今まで刻んできた歩みを未来に向かってさらに刻み続けられるよう、両市町の友好の歴史に新たな1ページを加えます。



津まつりのステージ(平成27年)

6月 津市で開催

上富良野図書館コーナー開設

〔6月30日(金)〜8月1日(火)〕

●津市図書館に上富良野町にゆかりのある書籍の陳列、貸し出しを行う特設コーナーを開設。

7月 上富良野町で開催

かみふらの花と炎の四季彩まつりに市長・市民訪問団来町

〔15日(土)〕

- 場所 保健福祉総合センターかみん
- 映像による両市町紹介、上富良野町開拓の歴史シヨートムービー放映
- 津市長・上富良野町長トークシヨール
- 「友好提携20周年を迎えて」(仮題)株式会社横山食品による上富良野産大豆使用新商品の披露、来場者への試作品配布
- 友好提携20周年記念パネル展示

場所 セントラ

ルプラザ横に
ぎわいテント

- 町内関係機関・団体による津市訪問団歓迎交流会



〔16日(日)〕

場所 日の出公園 四季彩まつり会場

- 津うきゃら「シロモチくん」が「ゆるきゃらステージ」に登場!!
- 津市観光協会PRブース開設
- 津市の前葉泰幸市長あいさつ
- あんどん表彰で津市長賞を授与

津市・上富良野町で開催

友好提携20周年記念パネル展

友好都市提携記念日の7月30日の前後2週間程度、津市と上富良野町で記念パネル展を開催。

- 三浦綾子記念文学館の協力により、小説「泥流地帯」特別パネル展を津市内で開催(場所は未定)
- 友好提携20周年記念パネル展を上富良野町社会教育総合センターラウンジで開催



昨年、町内で行われた泥流地帯パネル展



9月
津市で開催

□ポートレース津にて友好都市
提携20周年記念レース開催

〔19日(火)〜24日(日)〕

- 記念レース「上富良野町友好提携20周年GⅢ津オールレディース」開催
- 会場にて記念品配布、特産品の販売、かみふらの紹介パネル展開催

どんなレースになるか楽しみだね〜!



●JAふらのと株式会社横山食品との経済交流に関する協定調印式

〔26日(月)〕

現在調整中の事業

□学校給食で「津ぎょうご」提供

- 上富良野町内の小・中学校の給食で「津ぎょうご」を提供(予定)

津の味をお楽しみに!



□津市図書コーナー開設

- 上富良野町図書館「ふれんど」に津市にゆかりのある書籍の陳列、貸し出しを行う特設コーナー開設

10月
津市・東京都で開催

□上富良野町訪問団が津市へ

〔7日(土)〜9日(月)〕

- 町長・町民訪問団が津まつり期間に合わせ津市へ。津市民との交流、市内とその周辺にて視察研修を実施



津市役所を表敬(提携15周年事業 平成24年)

※町民訪問団は6月26日(月)から募集を開始します。詳細は広報かみふらの6月25日号(お知らせ版)をご覧ください

□首都圏で両市町の魅力をPR

〔26日(水)・26日(木)〕

- 東京都日本橋「三重テラス」(写真下の2階イベントスペースにて津市との合同物産展、記念パネル展を開催



参観日は学校に行こう!!

地域の皆さんに公開しています

町内の小・中学校では地域に開かれた学校をめざし、町民の皆さんから学校運営に対してご意見をいただくため、参観日には保護者の方だけでなく、一般の方にも授業を公開しています。また、多くの方に「特に見ていただきたい!」と地域公開参観日やオープンスクールなども設けています。時間内はいつでも参観できますので、元気に学ぶ児童生徒の姿を見にお越しください!!

上富良野小学校

◆参観日 学級担任による授業

【1・2年】 13時40分～14時25分

7月3日(月)

11月29日(水)

2月28日(水)

【3・4年】 13時40分～14時25分

7月4日(火)

11月27日(月)

3月1日(木)

【5・6年】 13時40分～14時25分

7月6日(木)

11月28日(火)

2月27日(火)

◆地域公開参観日

道徳の授業と全校音楽発表

【全学年】 8時45分～10時35分

9月10日(日)

上富良野西小学校

◆参観日 学級担任による授業

【1・2年】 13時20分～14時5分

9月27日(水)

12月5日(火)

3月1日(木)

【3・4年】 13時20分～14時5分

9月27日(水)

12月7日(木)

2月27日(火)

【5・6年】 13時20分～14時5分

9月27日(水)

12月6日(水)

2月28日(水)

◆一日参観日

学級担任による授業

【全学年】 8時30分～14時5分

7月21日(金)



東中小学校

◆参観日 学級担任による授業

【全学年】 13時10分～13時55分

7月5日(水)

9月29日(金)

12月5日(火)

2月22日(木)

上富良野中学校

◆参観日 教科担任による授業

【全学年】 13時25分～14時15分

7月13日(木)

12月7日(木)

【1・2年】 13時25分～14時15分

2月7日(水)

◆オープンスクール

教科担任による授業

【全学年】 8時45分～14時15分

10月20日(金)

上富良野西小学校

昨年5月の学級担任による授業



この日は小学生になって1ヵ月以上が経ったこともあり、少しは学校生活にも慣れてきた様子の子どもたち。好きな科目や休み時間の過ごし方などの先生の質問に、みんな元気に手を上げて「図工が好き!!」など大きな声で答えていました。学校生活を楽しみ元気に発表する姿を見て、保護者の皆さんもひと安心の様子でした。



深山峠の交通安全守護地蔵前で行われ、関係機関・団体などから30人が参加して交通安全を祈願しました。

主催者を代表し、町生活安全推進協議会の島瀬良一会長が「交通死亡事故ゼロ3千日をめざし、町民だけでなく町を訪れる方に対しても引き続き取り組みを進めます」とあいさつ。

終了後には満開の桜の花びらが風に舞う中、全員で「交通安全」と書かれた黄色い旗を持ち「旗の波作戦」を実施し、国道237号を通行するドライバーに安全運転を呼び掛けました。

5/10 死亡事故ゼロ3千日へ 春の交通安全祈願会



運転手さん気付いてね！ 手を上げて横断

5/9 左右よく見て手を上げて 交通安全青空教室

町生活安全推進協議会による交通安全青空教室が認定こども園高田幼稚園で開かれ、年少さんと年中さんはグループで、年長さんはJ.A.からの上富良野支所前の交差点で行われました。

上富良野交番の佐々木義明所長が「前の人にたづついて行くのではなく、自分で左右をしっかり確認してください。みんなは背が低いので、運転手さんに気付いてもらえるよう手を上げて渡りましょう」と注意点を説明。

子どもたちは信号が青に変わるのを待って左右をしっかりと確認。手を上げて元気に横断歩道を渡っていました。

教室は町内の保育所と認定こども園、全小・中学校で行われました。



心を一つに交通死亡事故ゼロを祈願

5/15 犯罪に気を付けて！ 春季防犯啓発活動



「鍵がついたまま…」自転車防犯診断

春の地域安全運動期間に合わせ5月9～29日の間、町生活安全推進協議会



声を掛けながらチラシを配布

地域安全部による春季防犯啓発活動が行われました。

5月9日には上富良野駅前駐輪場で、防犯登録や施錠がされていない自転車に注意を促すカードを付ける自転車防犯診断を

行ったほか、駅利用者にはチラシを配布。15日にはスパービッドラッグストア前で犯罪被害を防ぐ心構えが書かれたチラシを配り、注意を呼び掛けました。

5/20 児童館では楽しいイベントやっています！

東児童館で「野菜を作ろう」が行われ、敷地内の畑にトウモロコシやジャガイモなどを植えました。子どもたちは「植える穴は深くし過ぎず、種は等間隔に」とのアドバイスに注意しつつ黙々と作業。職員から「秋に収穫したらカレーを作るよ！」と伝えられると、歓声が上がりました。

一方、西児童館で



「畑作業は初めて♪」という子ども



互い違いに編み込むのが難しい…

は「匂いにおい袋を作ろう」として色違いのフェルト生地を編み込んだハーフト型のラベンダーの匂い袋を作製。完成後はみんなで香りを楽しみました。

西児童館では月2回、楽しいイベントを開催しています。遊びに来てね！

5/20 ぬくもりいっぱい!! みんなのカフェ1周年

障害福祉サービスマルティ機能型事業所デ
イサポートかみふらの(緑町3丁目)で
事業所内の「みんなのカフェ」開店1
周年記念イベントが行われました。

カフェでは自家製イチゴのパンケー
キなどを特別価格で提供したほか、駐
車場のテントでは手づくりの小物やカ
ラフルなキャンドルなどを販売。訪れ
た親子連れは「何度かカフェを利用し
ていますが、店内が落ち着いた雰囲気
でゆっくりできていいですね」と話
し、ぬくもりあふれる手づくりの商品
を品定めしていました。

5/21 感謝と思い出を歌にの せ 混声合唱団40周年



元団員も加わり、胸には懐かしさも…

上富良野混声合唱団創立40周年記念
第35回定期演奏会が公民館で行われ、
約130人が会場を訪れました。

和田団長の「長い間多くの方に支え
ていただき感謝している。高齢化や団
員減少など問題もあるが、ぜひ創立50
周年のステージにも立ちたい」とのあ
いさつで始まり、練習を重ねた団員た
ちが童謡や平和への願いが込められた
歌などを披露しました。最後には転勤
で退団し、町外から駆けつけた方など
も加わって「ふるさと」を会場の方々
と一緒に合唱。元団員の男性は「声を
合わせると昔を思い出しますね」と話
し、会場は美しい歌声と懐かしい思い
出に包まれていました。



こだわりブレンドのコーヒー豆なども販売

5/24 大きく育つてね! 園児が田植え体験

水士里ネットふらの(富良野土地改
良区)による田植え体験が東中地区の
水田で行われ、わかば愛育園の園児12
人がはだして挑戦しました。

初めに「みんなが食べているお米は
田んぼで育てているんだよ」との説明
があり、子どもたちは先生と一緒に早
速田んぼの中へ。泥の感触に驚いてい
ましたが、終了後には「すっごく面白
かった!」「冷たかったあ〜」など元
気な感想が聞かれ、最後には全員で
「大きくなりますように!!」と小さな
苗に向かってお願いしました。

5/27 良好な人間関係で健康 に 健康づくり講演会



「ふまねっとで交流を」と話す北澤講師

上富良野開基120周年記念健康づくり講
演会「ふまねっと運動で健康づくりと
まちづくり」が保健福祉総合センター
で開かれました。

講師の認定NPO法人地域健康づく
り支援会フリースリーの北澤一利理
事長は健康教室などに通う人を対象に
行われた調査から、周囲との関係性に
本人の健康状態には関連性があるとの
結果を例に「ふまねっと運動から生ま
れる楽しい会話と交流は高齢者の孤立
を防ぎ、相互の信頼関係、人間関係を
良くするのに効果的」と強調。健康維
持には適度な運動と栄養管理だけだでな
く、周囲との良好な関係性を築くこと
の大切さが伝えられました。



雨も上がって天気も味方。元気に植える園児たち



らべとんとのじゃんけん大会では豪華景品！

屋外のテント市、ふじスーパーの産直コーナーであなじみ、かみふらの軽トラ市(田中正太郎会長)による「みつげマルシエ」がセントラルプラザ横にぎわいテントで開かれました。

「見つける 見つかる かみふらのの好き」と銘打ち、トマトジュースなどの加工品や米、取れたて野菜に加え、今回は野菜と花の苗も販売。ほかにも町内の手づくり雑貨の店やレストラン、カフェなど8店舗が出店し、かみふ産「自慢の逸品」を販売しました。

自家製イチゴシヤムを使ったスイーツづくり、消しゴムはんこを押して思い思いに飾り付けるハンカチづくりな



イチゴスイーツづくり



ハンカチづくり



かわいい軽トラも登場



開始早々たくさんの人！

どの体験コーナーも人気で、らべとんとのじゃんけん大会では白銀荘入浴券12枚つづりをはじめ協賛事業者から提供された豪華景品に、子どもから大人まで大盛り上がり。

また、会場内の店舗を巡るスタンプラリーも行われ、4店以上で買い物をした人にはプレゼントも用意。併せて行われたアンケートには「まだ開催してほしい」などのうれしい感想が見られたほか、イベントを終えたスタッフからも「楽しかった!」との言葉も聞かれるなど主催者、参加者ともにかみふのいいモノ、いいトコロを「みつげた」イベントとなったようでした。

※みつげマルシエは上富良野町協働のまちづくり推進補助金を活用して実施されました



泥流被災地で当時の被害状況について説明

5/28
先人の労苦に思いはせ
泥流地帯フットパス

大正15年の十勝岳噴火による泥流が流れた跡、復興の足跡をたどる「泥流地帯の道フットパス」がNPO法人環境ボランティア野山人により行われ、町内外から17人が参加しました。

十勝岳爆発記念碑公園を出て富良野川沿いを進み、開拓記念館や専誠寺、大雄寺を経て郷土館までの約6kmを歩くパスで、途中事前に用意した泥流跡から採取した土と普通の土で育てた稲の見本を見ながら生育の違いを観察。その育ち方の違いに驚きの声が上がりました。「堆積した泥流の上に客土をして、現在のような豊かな田畑になっただんです」とのガイドの解説に、参加者は泥流と格闘し復興を成し遂げた先人の労苦に思いをはせていました。



5/28
花咲く未来に向けて
120年記念植樹祭

かみふらの120年記念植樹祭が島津公園で行われました。

未来への願いを込めて

この日は120年にちなみエゾヤマザクラなど120本の苗木と、思い思いのメッセージを書くプレートも用意。小学校の入学記念に参加した家族は「お花が咲いたら家族でお花見に来ようね」と話しながら楽しく植樹。苗木に「私と一緒に大きくなるうね」と書いたプレートを添えていました。

※サクラの苗木は二トリ北海道応援基金により購入しました



楽しく学ぼう
いつまでも!

生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班 ☎5511



児童が安全に過ごせる場所

放課後事業

教育委員会では地域の皆さんのご協力をいただきながら、安心・安全な子どもたちの活動拠点「放課後スクール」と放課後や休校日(夏休みなど)長期休校(心)に保護者が仕事などで留守になる児童の預かり事業「放課後クラブ」を行っています。

□放課後スクール

対象 小学1～6年生

場所 上富良野小学校
上富良野西小学校

日時 月～金曜日の放課後～16時

※下校後、再登校しての参加は不可

休業日 学校休校日、日曜日、祝日

利用料 1千200円(1年間)

※利用状況による返還はありません

帰宅方法 終了後、各自で帰宅します

□放課後クラブ

対象 小学1～6年生

場所 上富良野小学校(上富良野西小)

学校と東中小学校の児童はスクールバスで移動します)

日時 月～金曜日(祝日を除く)の放課後～18時、学校休校日の8～18時

※有料で7～8時(小学校休校日のみ)と18～18時30分の延長利用も可能

休業日 日曜日、祝日、12月31日～1月5日

利用条件

・保護者の就労などにより、放課後に留守家庭となる世帯(就労証明などの書類を提出)

・町税などに滞納がない

利用料 1千円(1カ月)

※延長利用は30分につき100円

帰宅方法 必ず保護者に迎えに来ていただきます

□申込方法 利用申込書を提出(前年度登録した方も必ず提出願います)

かみふらの120年記念

夏期巡回ラジオ体操 みんなの体操会

かみふらの120年と町体育協会設立50年を記念して、かんぼ生命、NHK、全国ラジオ体操連盟が主催する「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が下記の日程で開催されます。終了後には参加者全員に記念品をプレゼント! 家族、友人をお誘い合わせのうえ参加ください。

日時 7月26日(水)

集合・受け付け 5時50分

開会式・準備体操 6～6時30分

ラジオ体操 6時30～40分

(NHKラジオで生放送)

場所 社会教育総合センター横広場

※雨天時は社会教育総合センターアリーナで行いますので室内用の運動靴をお持ちください

その他 駐車場に限りがあります。車でお越しの場合は、乗り合わせてお越しください



図書館「ふれんど」利用者 カードガリニョール

図書館の利用者カードが新しくなりました。赤か青の台紙にらべとん、ウサギ、かわいい赤ちゃんのイラスト3種類を組み合わせ、計6パターンからお好みのものを選べます。現在お使いのカードからの切り替えも可能です。ご来館の際にお申し付けください。※カードは次回利用時にお渡しします



申込み・問合せ

図書館「ふれんど」

☎3158

図書館「ふれんど」 臨時休館

6月20日(火)～25日(日)は蔵書点検のため臨時休館します。返却期限を過ぎていた図書をお持ちの方は、至急返却願います。なお、休館中の本の返却はブックポストをご利用ください。

☎3158

青少年スポーツ大会 選手参加報奨金

教育委員会では、町内に住所を有する小・中・高校生で地区の予選を勝ち抜き、全道・全国大会などに出場するスポーツ団体と個人に対して報奨金をお渡ししています。該当する方はお申し出ください。

運動公園ジョギングコース

初夏の陽気とともに、屋外での運動が心地よい季節となりました。運動公園のジョギングコースは芝生広場が1週504m、球場を含むコースが1週1千460mで、土のコースがびざや腰に優しく初心者にも最適。街灯があるので夕方でも安心です。体づくりにご利用ください。



危険業務従事者叙勲受章 〈順不同〉

瑞宝単光章



のまい まさひろ
野間井 最さん
新町4丁目(67歳)

永年にわたり防衛業務に従事され、その職務を果たし、功労を積み重ねた功績により、瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝単光章



ささき けんじ
佐々木 建治さん
富町2丁目(61歳)

永年にわたり防衛業務に従事され、その職務を果たし、功労を積み重ねた功績により、瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝単光章



さかやうちくにお
坂谷内 邦夫さん
東町4丁目(67歳)

永年にわたり防衛業務に従事され、その職務を果たし、功労を積み重ねた功績により、瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝単光章



かわなべ こうじ
川鍋 光司さん
宮町3丁目(67歳)

永年にわたり防衛業務に従事され、その職務を果たし、功労を積み重ねた功績により、瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝双光章



にしかわ まさひろ
西川 勝さん
泉町1丁目(61歳)

永年にわたり防衛業務に従事され、その職務を果たし、功労を積み重ねた功績により、瑞宝双光章を受章されました。

感謝状を贈呈



株式会社北菱(宍戸浩代表取締役社長)から高齢者福祉増進のため100万円が寄付され、5月30日(火)に向山町長から感謝状が手渡されました。

料金 1千200円(生ビール3杯)
販売開始 6月15日(木)

場所 銀座通り

16~19時30分

日時 7月8日(土)

6月1日から店舗販売と協賛飲食店での提供を開始しています。「まるごとかみふらの」のポスターとのぼりが目印です。

味わいをぜひごっご!!
かみふらの夏の風物詩「まるごとかみふらの」ビアガーデン開催です。大麦は「りょうふつ」、ホップは「フランソベシヤル」と「フランビューティ」の2種類を使用し、原料はもちろんすべてかみふら産! このまちならでは、唯一無二のプレミアムな味わいをぜひごっご!!



今年のかみふら120年にカンパニー!

かみふらの120周年記念
「まるごとかみふらの」ビアガーデン

販売場所 企画商工観光課、農業振興課(JAふらのの上富良野支所内)、商工会
問合せ プレミアムビール「まるごとかみふらの」四季彩実
行委員会事務局(農業振興課)
☎6984

6月は「外国人労働者問題啓発月間」です

国内で働いている外国人の就労状況で、社会保険未加入や適正な労働条件が確保されていないなどの問題が見受けられます。外国人を雇い入れる際は、次の3点をご確認ください。

- ・就労が認められる在留資格か確認
- ・雇用、離職時はハローワークへ届け出が必要
- ・労働法令を守り、社会保険加入など適正な管理雇用

問合せ ハローワーク富良野 ☎4121
旭川労働基準監督署 ☎0166-35-5901

地域相談員にご相談ください

地域相談員は障がい者の虐待や差別、地域での暮らしにくさのほか、身体・知的障がいによる心配事、福祉制度などについて相談をお受けしています。秘密は固く守られますので、気軽にご相談ください。

【地域相談員】

身体障害者相談員 浦島義弘 本町6丁目 ☎4355
知的障害者相談員 太田恵子 泉町3丁目2番17号
☎43640

問合せ 保健福祉課福祉対策班 ☎6987

公衆

平成28年度情報公開・個人情報保護制度運用実績

町が保有する情報はいつでも誰でも公開を求め、自分自身に関する情報は開示のほか訂正や削除を求めることができ、個人のプライバシーに関する情報は適正に保護されることとなっています。平成28年度の実績は左記のとおりです。

●情報公開制度 請求3件

- ・地方債の借入条件等に関する文書 公開1件
- ・住居表示台帳 公開1件
- ・国民健康保険等診療報酬明細書点検業務委託に関する文書 不存在1件

●個人情報保護制度 請求2件

- 町立病院診療記録 公開2件

問合せ 総務課総務班 ☎6400

行政サービス制限措置

町では、特別の理由がなく町税などを滞納した場合、受けている行政サービスの停止や取り消しをする「町税等の滞納者に対する行政サービス」の制限措置等に関する条例」を定め、運用状況を議会へ報告し、一般に公

表することとしています。

平成28年度の措置件数 0件

問合せ 町民生活課総務班 ☎6989

手続き

児童手当現況届

児童手当を受けている方は6月中に現況届の提出が必要で、届け出がないと6月分以降の手当が支給されませんので、早めに手続きしてください。

公務員を退職して民間企業に就職、町外からの転入、子どもの出生などがあつた場合はその都度手続きが必要です。

問合せ 町民生活課総合窓口班 ☎6985

募集

図書館臨時職員

図書館「ふれんど」では臨時職員1人を募集します。

応募要件 司書資格を持ち、図書館などで勤務経験がある60歳未満の町内に住む方
勤務時間 9時15分～18時(休憩1時間)
時給 890円

期間 8月1日～平成30年3月31日

勤務日 曜日を問わず月14日以内(シフト制、有給休暇あり)

申込期限 6月23日(金)

申込み・問合せ

図書館「ふれんど」 ☎3158

催し

東京大学北海道演習林大麓山ハイキング登山会

十勝岳連峰の最南端、大麓山へ登ってみよう!

日時 7月9日(日) 9～15時
場所 東京大学北海道演習林

対象 小学生以上

定員・参加料 30人・無料

申込期限 6月22日(木)

申込み・問合せ

東京大学北海道演習林 ☎2111

保健

かみんプール利用休止

7月17日(月)～20日(木)は清掃・点検のため、プールと浴室の利用を休止します。

問合せ 保健福祉課福祉対策班 ☎6987

かみんプール教室スケジュール 【7月1日～9月30日】 問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎6987

	月	火	水	木	金	土	日
9時	一般利用	一般利用 陸上筋トレ30分	一般利用	一般利用 陸上筋トレ30分	一般利用	一般利用 陸上筋トレ30分	一般利用
9時30分							
10時	チェンジボディ(40分) ①・① 腰痛さんに最適	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	パワー筋トレ(40分) ③・② めざせ筋力UP	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	アクアビクス(45分) ②・③ 水中でエアロビ	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	
11～14時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						
14時	チェンジボディ(40分) ①・① 腰痛さんに最適	燃焼ウォーク(40分) ②・② 脂肪を減らそう	脚力のすすめ(40分) ②・② 膝痛さんに最適	スリムウォーク(40分) ②・② やせる体づくりに	ルンルンアクア(40分) ①・② 簡単リズム運動	一般利用	
15～19時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム) ※土・日曜日は15時～15時20分						
19時	スリムウォーク(40分) ②・② やせる体づくりに	脚力のすすめ(40分) ②・② 膝痛さんに最適	よくばりアクア(50分) ②・③ 水中運動の総集版	チェンジボディ(40分) ①・① 膝痛さんに最適	燃焼ウォーク(40分) ②・② 脂肪を減らそう	パワー筋トレ(40分) ③・② めざせ筋力UP	
～20時30分	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						

* 表の○で囲んだ数字は左が『きつさ』、右が『難しさ』を表しています。数字が大きくなるに従ってきつく、難しくなります
* 「頑張るダイエット」は9時30分から30分間、陸上での筋力トレーニングの後、プールで有酸素運動を40分間行います
* 「流水タイム」の間はフローミングが利用できます。時間内は1コース使用しますのでご了承ください(日曜日は15時のみ)
* 初めてプールに入られる方は個別に対応いたしますので、プールスタッフに声をお掛けください

農業

有害鳥獣駆除担い手対策

町では担い手確保のため、新たに猟銃所持許可と狩猟免許を取得し有害鳥獣駆除される町内在住の方に、取得費用の一部を助成しています。なお、助成には北海道猟友会富良野支部上富良野部会への入会が必要です。

上川総合振興局で行われる試験の日時、受験資格などは左記へお問合せください。

問合せ 農業振興課農業振興班
☎6984

福祉

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は犯罪や非行の防止と罪を犯した人々への理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。



毎年7月を強調月間とし、更生保護の日である7月1日に音

楽パレードを開催します。
日時 7月1日(土)
13時40分 役場出発
14時30分 高田幼稚園到着

※雨天時は13時40分から上富良野小学校体育館で「音楽発表会」を開催します
問合せ 保健福祉課福祉対策班
☎6987

講習会

住民講座

【パソコン講習 町内会「お知らせ」作成コース】定員10人
日時 7月5日・7日・10日・12日 9時30分～11時30分
受講料 3千500円
場所・申込み・問合せ
富良野地域人材開発センター
☎2169

【納付猶予制度】
50歳未満で、本人や配偶者の前年所得が一定基準額以下の方は、申請により保険料の納付が10年間猶予されます。

【免除の区分】
全額免除
納付額 0円
年金額への反映割合 1/2
3/4免除
納付額 月額4千120円
年金額への反映割合 5/8
半額免除
納付額 月額8千240円
年金額への反映割合 3/4
1/4免除
納付額 月額1万2千370円
年金額への反映割合 7/8

【納付猶予制度】
50歳未満で、本人や配偶者の前年所得が一定基準額以下の方は、申請により保険料の納付が10年間猶予されます。

旭川年金事務所では毎月1回「年金相談所」を開設し、厚生年金・国民年金の請求手続きなどの相談をお受けしています。1週間前までの事前予約が必要です。
日時 7月13日(木)
10～16時30分
場所 富良野市役所
申込み・問合せ
旭川年金事務所お客様相談室
☎0166-72-5004

今年のお金のお話

保険料の納付が困難なときは手続きをください！

国民年金保険料免除制度

保険料を納める本人や配偶者、世帯主の前年所得が一定基準以下の方、失業して納付できない方は、申請により保険料の全額か一部が免除となります。

一部免除の間、免除以外の保険料を納めないと年金に反映されないほか、障害・遺族年金を受けられない場合もあります。

免除の区分



全額免除
納付額 0円
年金額への反映割合 1/2
3/4免除
納付額 月額4千120円
年金額への反映割合 5/8
半額免除
納付額 月額8千240円
年金額への反映割合 3/4
1/4免除
納付額 月額1万2千370円
年金額への反映割合 7/8

◆申請受け付け
平成29年7月～30年6月分は29年7月3日から
申込み・問合せ
旭川年金事務所
☎0166-27-1611
町民生活課総合窓口班
☎6985

おわび

広報かみふらの5月25日号表紙「6月のまちの行事予定」中、6月21日(水)の運転免許更新時講習(優良)の開始時間に9時とあるのは13時の誤りでした。おわびして訂正いたします。

町民生活課自治推進班
☎6985



「十勝岳ジオパーク構想」郷土館に展示コーナー開設



十勝岳の成り立ち、地質・地形サイト、泥流発生メカニズムなどの科学的な紹介も設け、地域の「なるほど！」をわかりやすく展示しています。

グループ観覧の場合は「ジオパーク専門員」によるガイドも可能ですので、気軽にお問合せください(要事前予約)。

申込み・問合せ 郷土館

☎3158

うえやま ことは 上山 琴葉 (5カ月) あかり ちゃん (3歳)



☆光一さん・梨恵さんの子☆

就学前のお子さんを募集しています。
町民生活課自治推進班 ☎6985

あかりは替え歌を作って歌ったり、親の会話にツッコミを入れるのがマイブーム！ 琴葉は足でおもちやを挟んだり、抱っこしてくれている人の手をたたいり(!!)と元気い〜っぱいです♡ これからも明るく優しい子に育ててね。

(梨恵さん)



☆馨さん・由梨さんの子☆

陽生は公園の遊具で遊んだりとお外が大好き。ご飯もモリモリ食べて、おかわりするほど！ 紗季は最近、寝返りもできるように普段は手がかららない子です。兄妹でいると通じるものがあるらしく、いつも2人でニコニコしています♪

(由梨さん)

おおの はるき 大野 陽生 (2歳10カ月) さき ちゃん 紗季 (5カ月)



プレゼンテーションの口火を切る向山町長

ジオ林崎・ジオ田中の 十勝岳ジオパーク 誕生への道

問合せ 企画商工観光課ジオパーク推進室 ☎6994

◎こうこう来ちゃった、日本ジオパーク新規認定プレゼンテーション！
5月21日、千歳県の幕張メッセで日本ジオパーク新規認定プレゼンテーションが行われました。
今年度は私たち十勝岳のほか、島根県の国引き(松江市・出雲市)、高知県の土佐清水、栃木県の那須烏山の4つの地域のジオパーク構想が新規認定に向けて緊張のプレゼンへ!! 日本ジオパーク委員をはじめ全国のジオパーク関係者約500人を前に、これまでの取り組みなどを発表しました。

◎みんなのチームワークで現地審査へ
発表では上富良野・美瑛両町長と事務局員、専門員のほか地域住民の代表として十勝岳温泉湯元凌雲閣の青野範子さん、美瑛・白金ネイチャークラブの小倉博昭さんも登壇。なぜ日本ジオパーク認定をめざすのか、どのような地形や地質があるのか、ガイドをどのように育成していくのかなどを会場に向かつて熱くアピール。6人がそれぞれ役割を果たし全力を出し切り、タイムキーパーなどの脇役役も頑張った結果、次なるステップ、7月に予定さ

れる現地審査へと駒を進めることができました！ しかし、私たち以外で次に進めたのが「国引き」のみという厳しい結果に、ジオパーク認定の難しさをあらためて痛感した瞬間でした…。
◎次はいよいよ現地審査なのよ
現地審査では3人の審査員が両町を訪れ、住民のジオパークへの思いと理解について審査します。認定には地域全体での盛り上がりが必要不可欠!! 今後さまざまなイベントを企画、参加もしていきますので、皆さんの温かいご声援とご協力をお願いします。

かみふらのミニ百科 知っているようで知らない、かみふの「うんちく」をお伝えします!

原料となる大麦とホップはすべて上富良野産。まさにかみふのおいしさがまるごと入ったプレミアムなビールで、大麦とホップ両方を生産する国内で唯一のまちにしか作れない世界でたった一つの味わいです。瓶のラベルには故後藤純男画伯の作品「十勝岳連峰」を使用。6月の販売開始が短い夏の到来を告げるかみふ自慢の逸品です。



かみふ自慢のホップ

今回は夏期限定の「涼しさ」を感じられる「チラチラ」をご紹介します♪
十勝岳スカイライン
吹上温泉の十勝岳ゲートから英町の望岳台ゲートまでの道道96号線の通称で全長は約4km、冬期は通行止めになります。十勝岳連峰を間近に見ながら、その名のとおり標高1km付近を走るのも夏でも涼しいのももちろん、タイムングが合えば眼下に広がる雲海が見れるかも！ 気持ち良過ぎるので運転の際はご注意ください!!
フリアムビール
まろやかみふの

今月のテーマは…
アウトドアを楽しもう!

- 富良野市 山部自然公園太陽の里
- ◆キャンプ場 最大1千人収容可能な広大な敷地で、無料で利用できます
 - ◆パークゴルフ場 4コース整備されており、用具の貸し出しも。火曜日定休
 - ◆遊々の森 2~2.5kmの1時間程度で回れるコースが2つ。森林浴が楽しめます
 - ◆ふれあいの家 宿泊施設のほか、石焼きジンギスカンが味わえるレストランも
- 問合せ ふれあいの家
☎3445

- 中富良野町 北星山観光リフト営業開始
- 隣接する森林公園にはハイキングコースもあります。森林浴にぜひどうぞ!
- 運行期間 6月17日(土)~8月31日(木)
- 運行時間 9~18時
- 料金 大人300円(1往復)
- 問合せ なかふらの観光協会
☎3033

- 南富良野町 かなやま湖でのカヌー体験
- ツアーではガイドの指導のもと、2~3人乗りのカヌーをパドルでこいで進みます。車いすの方や愛犬連れの方も参加できるもののほか、日差しの弱い早朝ツアーもご用意しています。ゆったりと過ぎる時間の中で、リフレッシュしてみませんか。
- 問合せ NPO法人南富良野まちづくり観光協会
☎7000

- 占冠村 ニニウキャンプ場
- テントの脇に自動車を止められるオートサイトやバンガローがあるほか、寝袋やテントのレンタルもあり、気軽に利用いただけます。室内でのロッククライミングや木工クラフト加工、ドラム缶風呂、サイクリングといった体験アクティビティもご用意。なお、ご利用には事前予約が必要です。
- 問合せ ニニウキャンプ場
☎2352

NPO法人 なないろニカラ ☎6208



レラでの食事会の様子

【お知らせ】
シットコロで新メニューを提供しています。ぜひご利用ください!!

なないろニカラだより
~胸を張って頑張れる職場に!~

なないろニカラでは町内2つのレストラン、東中地区の「シットコロ」、日の出公園展望台の「レラ」(春から秋の限定営業)でお客様に昼食を提供しています。

昨年の春からは宮町にある事務所に併設の調理施設で食材の事前加工を行い、レストランでの調理の手間を少なくしています。今では工程を分担することで専門的な調理までほとんどすべてこなしております。

そんな中、レラでは保護者の皆さんに来ていただき、予行演習として食事を開きました。参加したのはお客様役のメンバーも合わせて39人で、ほぼ大型バス1台分の人数。メニュー、人数ともに本番さながらの状況での練習となりましたが、数日前からの入念な準備のいかもあって、料理には「おいしい!」とのうれしい声も聞かれ、収穫の多い練習となりました。

この1年で事業所としてできることの幅も大きく広がり、飲食部門が一つの事業として評価いただくまでにになりました。私たちがめざしてきた「働く人が胸を張って頑張れる職場」、それがやっとう、形になってきていると実感しています。今年さらさら収益、工賃アップをめざして頑張っています。

☆ 町内3つの障がい福祉サービス事業所の出来事を、月替わりでお伝えしています ☆



「ファイヤーマンから炎のメッセージ」
建物の増改築には消防法について注意を

飲食店や宿泊施設など不特定多数の方が利用する建物を増改築する場合、工事内容によっては法令に違反してしまつてケースがあります。

また、工事後に立ち入り検査で違反が発覚した場合、改善を求められ、結果的に多額の費用がかかることもあります。

法令に違反することがないように、このような施設を増改築する場合には、事前に消防署と役場建設水道課へご相談ください。

【増改築時の注意点】
増改築により床面積が増えることで防火仕様の基準が厳しくなり、燃えにくい材料の使用や非常用照明設備、自動火災報知機などの設置が必要となる場合があります。



女性防火クラブ独居高齢者宅訪問

◆全道春の火災予防運動を実施 (実施期間 4月20~30日)

20日 上富良野消防署火災防御訓練を泉栄防災センターで実施

24日 女性防火クラブ独居高齢者戸別防火訪問を実施

これらのほか、期間中は町内の事業所への立入検査も実施しました。

◆今後の主な事業
7月上旬 幼年消防クラブ、女性防火クラブ合同防火パレード

問合せ 上富良野消防署指導係 ☎2119

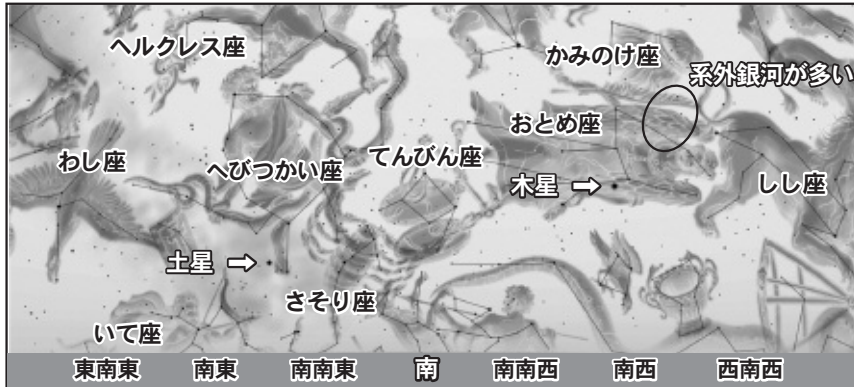


夜空を見上げれば...

問合せ
教育振興課社会教育班 ☎5511

☆6月の上富良野の星空は...

StelaNavigator Ver.9 ©1992-2013 AstroArts Inc.



上は6月18日(日)午後9時の上富良野の星空です。今月は21日に夏至を迎え、昼間の時間がとても長くなります。太陽は大きく北寄りに位置しますので、緯度の高い上富良野と緯度の低い沖縄県那覇市では、実際に星空が見える時間は下表のようにかなり違います。空がうす明るい「薄明」の時間が北海道

6月21日(水) 夏至の日の薄明時間の違い

	薄明開始	日の出	日没	薄明終了
上富良野町	1時23分	3時42分	19時19分	21時38分
那覇市	4時00分	5時28分	19時25分	20時53分

では日没後、日の出前ともに長いために、暗い星空が見られるのはわずか4時間ほど。星空を眺めるにはやや不利な北国ですが、人工衛星を夜中でも見ることができるのがこの時期です。

既に機能を失ったものを含めると、4,000個以上の人工衛星が目的により200~40,000kmほどの高さで地球の周りを回っています。最も明るいものは国際宇宙ステーション(ISS)で木星ほどの明るさで輝きますが、そのほかにも肉眼で見えるものはたくさんあり、初夏に夜空を撮影すると意外に多くの人工衛星が「軌跡」となって写り込みます。ISO1600~4000くらいで30~60秒ほどの露出で細長く、まっすぐな軌跡が写ります。

人工衛星は自分からは光を出さず、太陽光を反射して見えているので、移動とともに明るさが変化したり、地球の影に入ると見えなくなります。国際宇宙ステーションがいつ、どの方向に見えるかはインターネットで「きぼうを見よう」で検索するとJAXAの情報が見られます。

南西の空には、全天で2番目の大きさの星座「おとめ座」が見えています。おとめ座から北側(上方)の「かみのけ座」にかけては「おとめ座銀河団」と呼ばれる「小宇宙」が2,000個ほども存在するエリアです。小宇宙とは、私たちがいる銀河系宇宙やアンドロメダ大星雲などのように恒星(太陽)がたくさん集まっているひと固まりを指します。それらがあるということは、おのずと惑星系を持った恒星があり、中には文明を持った生命体が存在する星もあると考えるのはごく自然なことなのかもしれません。

たくさんのご寄付
ありがとうございました

町へ

- ◎瀬川恵子さん 3万円
- ◎株式会社北菱(富良野市) 100万円
- ◎杉木奈美枝さん(中富良野町) 10万円

町立病院へ

- ◎中西正さん 3万円

社会福祉協議会へ

- ◎藤木寿さん 5万円
- ◎瀬川恵子さん 3万円
- ◎谷口繁さん 5万円
- ◎杉木奈美枝さん(中富良野町) 10万円

7月の天体観望会

NPO法人東亜天文学会会員の犬上達也さんを講師に望遠鏡を使って月や土星などを観察するほか、解説を聞きながら夏の星座などを眺めます。

中止の場合は16時以降に連絡します。

日時 7月4日(火) 19:30~20:30

場所 上富良野西小学校チャレンジ天文台

定員 25人(中学生以下は保護者同伴)

参加料 無料

申込期限 6月30日(金)

申込み・問合せ

教育振興課社会教育班 ☎5511



ISSの軌跡

おとめ座銀河団

それらがあるということは、おのずと惑星系を持った恒星があり、中には文明を持った生命体が存在する星もあると考えるのはごく自然なことなのかもしれません。

発行日 平成29年6月10日
発行 上富良野町
編集 町民生活課自治推進班
印刷 (株)総北海

ご意見・ご感想をお寄せください。
☎071-0596
北海道空知郡上富良野町
大町2丁目2番11号
☎0167-6985 FAX0167-5362
メール: jichi@town.kamifurano.lg.jp

●人のうごき●
()は前月比

平成29年5月31日現在

人口 10,983人 (+11)
男 5,578人 (+1)
女 5,405人 (+10)
世帯 5,386世帯 (+21)



5/28 ナイスショット! 上富良野開基120年記念第19回住民会対抗パークゴルフ大会

